

茅室町総合体育館改修工事

機械設備工事

2023 . 03

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																				
<p>茅室町総合体育館 改修工事 工事特記仕様書</p> <p>I 工事概要及び範囲</p> <p>1. 工事場所 北海道茅室町東2条南8丁目1番地</p> <p>2. 工事範囲 ※下記●は、工事対象範囲を示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>構造種別</th> <th>数量 (延べ面積)</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●総合体育館</td> <td>鉄骨・鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建て</td> <td>4266.98</td> <td>m²</td> <td>用途：複合用途防火対象物(16)項イ</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 建設工事に係る資材の再資源化に関する法律の対象の有無 ○有り○無し</p> <p>4. 指定部分工事 (1) 工事範囲 (2) 工期 契約日より 令和 年 月 日 まで</p> <p>5. 別途工事</p> <p>6. 施工区分 ※下記●は、工事対象範囲を示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="4">工程</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>建築</th> <th>電気</th> <th>冷暖房</th> <th>衛生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>躯体の設備配管用のクランプ、箱抜等及びケーブル等の充填</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上記の補強</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>埋込電灯、2バーナー、ファン等</td> </tr> <tr> <td>設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備機器用天井、壁、床仕上げの切込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備用天井、床点検口</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防火戸用煙感知器、自動閉鎖装置</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備機器用基礎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鋼製架台は設備工事</td> </tr> <tr> <td>ルーフレイン排水金物</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>換気扇等取付枠</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外壁面入給排気ガラリ及び防風板</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>II 各工事</p> <p>1. 図面(工事数量総括表を含む)及び、この特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁庁舎 補修部監修「公共建築工事標準仕様書 令和 元 年版(各工種)」、「公共建築改修工事標準仕様書 令和 元年版(各工種)」、「建築物解体工事共通仕様書 令和 元年版」による。</p> <p>2. 特記事項の適用については次にによる。 イ. 章は○印を、項目は●印を塗りつぶしたものを適用する。 ロ. 特記事項は○印を塗りつぶしたものを適用し、塗りつぶさない場合は●印を付けたものを適用する。 ハ. 特記事項で○印を塗りつぶしたものと●印の付けたものがある場合は、共に適用する。 ニ. 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の該当項目、該当図又は該当表を示す。</p> <p>3. この特記仕様書に施工部位の記載のないものは図面によるものとする。 4. 本工事における工事監理業務委託の有無 *無し●有り</p> <p>5. 次の場合に該当し、発注者が必要と認める場合は、設計変更する。ただし、概数の確定による変更は除く。 (1) 設計図書間に不一致等がある場合 ア. 設計図書と記載されている内容が数量総括表等と一致しない、又は脱漏している場合等 イ. 設計図書と現場の状態とに不一致等がある場合 ウ. 設計図書により示した条件と現場の状態が一致しないことにより施工方法・範囲の変更を必要とする場合等 エ. 設計図書のとおり施工することにより施設利用者又は使用者の利便性、安全性を損ねることが判明した場合等 オ. 発注者からの提案に基づく施工方法が設計図書のとおり施工することより経済性、工法的に合法性があると判明した場合等</p> <p>(2) 関係機関等との協議結果による工法変更及び仮設工事等がある場合 なお、大型開等の仮設工事において施工条件に変更が生じた場合や受注者からの提案がより経済性や工法的な合理性に優れていると認められる場合は、原則として設計変更の対象とする</p> <p>6. 受注者の努力等により工期前に工事が完成し完成検査を受けた場合は、共通仮設費等の減額分の合計額が工事費の1/10を超える場合は、発注者と受注者が協議し工事請負額を減額できることとする。</p> <p>7. 工事に係る留意事項及び施工条件は、次のとおりとする。</p> <p>※年度毎の工事は下記による</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1. 令和5年度</td> </tr> <tr> <td>1-1 第二アリーナ冷暖房設備新設工事</td> </tr> <tr> <td>1-2 シャワー室換気設備改修工事</td> </tr> <tr> <td>1-3 事務室冷暖房設備新設工事</td> </tr> <tr> <td>2. 令和5年度(補正)</td> </tr> <tr> <td>2-1 キッズスペース改修工事</td> </tr> <tr> <td>3. 令和6年度</td> </tr> <tr> <td>3-1 第一アリーナ暖房設備改修工事</td> </tr> <tr> <td>3-2 ギャラリー暖房設備新設工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>※研修室冷暖房設備新設工事(将来工事)</p>			名称	構造種別	数量 (延べ面積)	単位	備考	●総合体育館	鉄骨・鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建て	4266.98	m ²	用途：複合用途防火対象物(16)項イ	○					○					○					項目	工程				備考	建築	電気	冷暖房	衛生	躯体の設備配管用のクランプ、箱抜等及びケーブル等の充填	○	●	●	●		上記の補強	●	○	○	○	埋込電灯、2バーナー、ファン等	設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強	●	○	○	○		設備機器用天井、壁、床仕上げの切込	○	○	○	○		設備用天井、床点検口	○	○	○	○		防火戸用煙感知器、自動閉鎖装置	○	○	○	○		設備機器用基礎	○	○	○	○	鋼製架台は設備工事	ルーフレイン排水金物	○	○	○	○		換気扇等取付枠	○	○	○	○		外壁面入給排気ガラリ及び防風板	○	○	○	○	図示による	1. 令和5年度	1-1 第二アリーナ冷暖房設備新設工事	1-2 シャワー室換気設備改修工事	1-3 事務室冷暖房設備新設工事	2. 令和5年度(補正)	2-1 キッズスペース改修工事	3. 令和6年度	3-1 第一アリーナ暖房設備改修工事	3-2 ギャラリー暖房設備新設工事	<p>章</p> <p>▶1. 道産材等の優先使用 ▶2. 環境物品等の調達 ▶3. 地域材の優先使用 ▶4. 合法木材の使用 ▶5. 特別な材料の工法 ▶6. 品質計画 ▶7. 工事写真 ▶8. 技能士 ▶9. 施工中の安全確保及び環境保全 ▶10. 交通安全管理 ▶11. 工事完成時の提出図書等 ▶12. 高度技術・創意工夫 ▶13. 電力基本料金 ▶14. 発生材の処理等</p>	<p>特記事項</p> <p>本工事に使用する主要資材は、道産資材及び北海道認定リサイクル製品を使用するよう努めること。(木材及び木材製品は除く。)</p> <p>本工事の資材等に係る環境物品等の調達は、北海道グリーン購入基本方針に基づく平成23年度環境物品等調達方針により行うよう努める。</p> <p>同調達方針の公共工事の配慮事項「資材の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷軽減に配慮されていること。」に留意すること。</p> <p>本工事に使用する木材または材を原料とする資材を使用する場合は、地域材を優先的に使用することとし、使用した材料の種類、産地等を監督員に報告すること。 地域材とは、道内の森林で産出され、道内で加工された木材をいう。 木材又は、材を原料とする資材を使用する場合は、間伐材や合法性の証明された材を使用すること。 また、木材の合法性の証明は、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(平成19年2月林野庁)に準拠し、資材納入業者から証明を受けるとともに、証明書類を工事完了年度から起算して5年間保存すること。</p> <p>設計図書等に指定されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。 建築基準法に定められた区分等 ・風速 ($V = \frac{m}{s}$) ・垂直積雪量 ($c m$)</p> <p>工程写真及び完成写真は、北海道建設部監修管轄工事記録写真撮影要領による。</p> <p>(1) 技能士の適用は次の職種とし、従事する技能士の氏名、職種及び資格を記載した書面により監督職員に報告する。 ただし、作業の軽微なものは、監督職員との協議により省略することができる。 <職種> 型枠施工・鉄筋施工・防水施工・内装仕上施工・サッシ施工・ガス施工・塗装・塗装・建築板金・スレート施工・石材施工・建築大工・とび・左官・ブロック建築タイル張・ALCパネル施工・カーテンウォール施工・造園・樹脂接着剤注入施工・コンクリート圧送施工・れんが積み施工・冷凍空調調和機械施工・建築配管・熱絶縁施工・建築板金(タクト板金)</p> <p>(2) 技能士は、職業能力開発促進法による1級、2級若しくは単一単級の資格を有し、地域技能士会の発行する資格証明書又は、技能検定合格書の写し又は、技能士手帳の写しを上記(1)の書面に添付する。</p> <p>(3) 技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う。</p> <p>受注者は、標準仕様書に定められた安全確保及び環境保全等のほか、特に次の事項に留意し、工事現場の事故防止に努める。 (1) 労働者の安全衛生教育の徹底を行う。 (2) 工事現場の安全パトロールの励行を行う。 (3) 建設機械器具などの危害防止処置の徹底を行う。 (4) 第三者に災害を及ぼしてはならない。 (5) 公害防止に努める。 (6) 善良な管理者の注意をもってしても、災害又は公害の発生のある場合の処置は、監督職員と協議する。</p> <p>受注者は、工事の施工中の交通事故防止のため交通安全管理に努め、次の事項を遵守する。 (1) 着工するに当たり、出来るだけ速やかに工事の施工中の交通安全管理計画を策定し監督職員に提出する。 なお、計画の策定は資材搬入運行路線・点検体制・その他車両運行に係る安全対策等について連絡管理者及び管轄警察署等と十分な事前協議を行い、以後も常に連絡を密によりながら適切な処置を講じるものとする。 (2) 常に下請人員も含め工事施工中の交通安全管理状況の把握に努め、管理状況を適宜監督職員に報告する。 (3) 工事に関連して交通事故が発生したときは速やかに監督職員に報告する。 (4) 運送には、適法業者を選定するなどして、過積載又は過労運転に伴う交通事故防止に努める。 (5) 建設機械(ブダ・ダンプ・バックホ等)は、排出ガス対策型を使用し、かつ、低騒音型の車両を使用すること。</p> <p>工事完成時の提出図書等は、次により監督職員に提出する。 (1) 完成図書 完成原因の隔面複写図を製本したもの 1部 完成図の第2原因A3版(50%縮小) 1部 完成第2原因A3版の隔面複写図を製本したもの 3部 設計原因の貸与 *有り○無し CADデータの貸与 *有り○無し ※CADデータの貸与有りの場合 *完成図CADデータ及びPDFデータ CD-Rによる。 (2) 保金に関する資料(提出部数 *1部○部) (3) その他、必要とする書類については、監督職員の指示による。</p> <p>受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する事項について工事完了時までに所定の様式により提出することができる。</p> <p>本受電から引渡しまでの電力基本料金 ● 本工事 ○ 別途</p> <p>発生材の処理等は次により、「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(以下「リサイクル法」という。、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令及び「建設副産物適正処理推進要綱」)に従い適切に処理する。 なお、下記の内容を変更する場合は、別途、監督職員と協議をする。 (1) 引き渡しを要する範囲は次により、監督職員の指示する方法及び位置に堆積、整理し所定の発生材報告書により監督職員に報告する。 引き渡しを要する範囲 _____ (2) 受注者が処分する有価物の範囲は次による。 有価物の範囲: _____ なお、有価物は、次の登録又は許可業者で処分すること。 ① 廃棄物再生事業者登録(知事登録) ② 金属くず商許可業者(警察許可) また、搬出を行った場合は、受入伝票又はマニフェスト伝票等、及び許可書等の写しを監督職員に提出すること。 (3) 特別管理型産業廃棄物 種類: _____ 受入先: (km) 処理方法: _____ 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 処理方法: _____ 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 処理方法: _____ 住所: _____ (4) 再資源化を図るもの(特定建設資材廃棄物) コンクリート塊 受入先: (km) 住所: _____ アスファルト・コンクリート塊 受入先: (km) 住所: _____ 建設発生木材 受入先: (km) 住所: _____</p>	<p>章</p> <p>▶24. 室内空気中の化学物質の濃度抑制</p> <p>※ 設計上、特定建設資材廃棄物は発生しない場合(受注者)の都合により実際に特定建設資材を発生させ、廃棄物として処分する場合は、当該特定建設資材廃棄物の再資源化等実施方法の確定後、工事監督員の確認を受けること。</p> <p>(5) 再資源化を図るもの(特定建設資材廃棄物以外)</p> <p>種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____</p> <p>(6) その他の発生材 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____ 種類: _____ 受入先: (km) 住所: _____</p> <p>(7) 建設廃棄物の収集・運搬は、産業廃棄物収集運搬業の許可を受けた者とする。 当該運搬車は、次に掲げる表示を行い、建設者等が定める書面を備え付けること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">産業廃棄物収集運搬車</th> </tr> <tr> <th>業者名</th> <th>(○ × × × × ×)</th> </tr> <tr> <th>許可番号</th> <th>× × × × × ×</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> <p>(8) 「建設リサイクル法」対象工事及び「リサイクル法」で定められた次の資材の搬入、副産物の搬出がある工事は、工事着手時に再資源利用・利用促進計画書を提出し、また、工事完了時に再資源利用・利用促進実施書を提出すること。 リサイクル法で定められた一定規模以上の工事(次表の一つでも該当するもの)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>再資源利用計画書</th> <th>再資源利用促進計画書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>次のような建築資材を搬入する工事</td> <td>次のような指定副産物を搬出する建設工事</td> </tr> <tr> <td>1. 土砂……………1, 000m³以上</td> <td>1. 土砂……………1, 000m³以上</td> </tr> <tr> <td>2. 砕石……………500t以上</td> <td>2. コンクリート塊</td> </tr> <tr> <td>3. 加熱70℃以上混合土……………200t以上</td> <td>アスファルト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート塊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建設発生木材</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>200t以上</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table> <p>本工事で発生する産業廃棄物が、道内の最終処分場に直接搬入される場合、又は中間処理場に搬入される場合でも残さ等が発生し、最終処分場に搬出される場合は、循環税が課税されるので適正に処理する。</p> <p>自主施工期間中は、低温湿施工により品質管理上支障の起こす恐れのない工種は、これを積極的に活用できる。 ただし、支障の起こす恐れのある次の工種は、工法等を監督職員と十分協議の上、施工するものとする。 <工種> コンクリート・屋外防水・屋上防水・タイル・左官・塗装・緑化工事その他これに類する工事</p> <p>工事施工に際しては、職業安定機関と密接な連携を図り、季節労働者などの雇用の拡大に努める。</p> <p>下請人員及び資材業者に対する支払いは現金払いとし、やむを得ず手形払いとする時は、当該手形期間を短く(90日以内)するよう努める。</p> <p>工事着手から完成引渡までの間を契約金額に相当する保険等に加入するものとする。</p> <p>魅力ある建設工事を推進するため、工事現場の環境改善に努める。</p> <p>工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示する。</p> <p>受注者は、着工後速やかに公衆の見やすい場所に工事標識を掲示する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">工事標識</th> </tr> <tr> <th>工事名</th> <th>_____</th> </tr> <tr> <th>発注者</th> <th>_____</th> </tr> <tr> <th>工事期間</th> <th>令和 年 月 日～令和 年 月 日</th> </tr> <tr> <th>受注者</th> <th>_____</th> </tr> <tr> <th>設計者</th> <th>_____</th> </tr> <tr> <th>工事監督者</th> <th>_____</th> </tr> <tr> <th>工事現場</th> <th>_____</th> </tr> <tr> <th>連絡所</th> <th>_____</th> </tr> </thead> </table> <p>建設業法に基づく施工体制台帳を作成し、施工管理体制に関する事項を監督職員に提出しなければならない。(対象工事：工事1件の積立代金額が200万円以上の工事)</p>	産業廃棄物収集運搬車		業者名	(○ × × × × ×)	許可番号	× × × × × ×	<p>(8) 「建設リサイクル法」対象工事及び「リサイクル法」で定められた次の資材の搬入、副産物の搬出がある工事は、工事着手時に再資源利用・利用促進計画書を提出し、また、工事完了時に再資源利用・利用促進実施書を提出すること。 リサイクル法で定められた一定規模以上の工事(次表の一つでも該当するもの)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>再資源利用計画書</th> <th>再資源利用促進計画書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>次のような建築資材を搬入する工事</td> <td>次のような指定副産物を搬出する建設工事</td> </tr> <tr> <td>1. 土砂……………1, 000m³以上</td> <td>1. 土砂……………1, 000m³以上</td> </tr> <tr> <td>2. 砕石……………500t以上</td> <td>2. コンクリート塊</td> </tr> <tr> <td>3. 加熱70℃以上混合土……………200t以上</td> <td>アスファルト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート塊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建設発生木材</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>200t以上</td> </tr> </tbody> </table>		再資源利用計画書	再資源利用促進計画書	次のような建築資材を搬入する工事	次のような指定副産物を搬出する建設工事	1. 土砂……………1, 000m ³ 以上	1. 土砂……………1, 000m ³ 以上	2. 砕石……………500t以上	2. コンクリート塊	3. 加熱70℃以上混合土……………200t以上	アスファルト		コンクリート塊		建設発生木材		合計		200t以上	工事標識		工事名	_____	発注者	_____	工事期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日	受注者	_____	設計者	_____	工事監督者	_____	工事現場	_____	連絡所	_____	<p>章</p> <p>▶25. 中間検査の実施</p> <p>本工事において、次の段階で中間検査を実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施対象建物名称</th> <th>実施部位</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○基礎工事</td> <td>配筋完了時</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>躯体完了時</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄骨建方完了時</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>完了時</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>完了時</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 上記のほか、発注者が中間検査の実施を必要と認めた場合は、別途文書により通知する。</p> <p>▶26. 暴力団員等による不当要求を受けた場合の対応</p> <p>(1) 受注者は、暴力団員等による不当要求又は工事(業務)妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否しなければならない。 また、不当介入があった時点で速やかに警察へ通報するとともに、捜査上必要な協力を行わなければならない。 (2) 受注者は、前記により警察へ通報を行った際には、速やかにその内容を監督職員に報告しなければならない。 (3) 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じる等の被害が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。</p>	実施対象建物名称	実施部位	実施時期	○	○基礎工事	配筋完了時	○	○	躯体完了時	○	○	鉄骨建方完了時	○	○	完了時	○	○	完了時
名称	構造種別	数量 (延べ面積)	単位	備考																																																																																																																																																																								
●総合体育館	鉄骨・鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建て	4266.98	m ²	用途：複合用途防火対象物(16)項イ																																																																																																																																																																								
○																																																																																																																																																																												
○																																																																																																																																																																												
○																																																																																																																																																																												
項目	工程				備考																																																																																																																																																																							
	建築	電気	冷暖房	衛生																																																																																																																																																																								
躯体の設備配管用のクランプ、箱抜等及びケーブル等の充填	○	●	●	●																																																																																																																																																																								
上記の補強	●	○	○	○	埋込電灯、2バーナー、ファン等																																																																																																																																																																							
設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強	●	○	○	○																																																																																																																																																																								
設備機器用天井、壁、床仕上げの切込	○	○	○	○																																																																																																																																																																								
設備用天井、床点検口	○	○	○	○																																																																																																																																																																								
防火戸用煙感知器、自動閉鎖装置	○	○	○	○																																																																																																																																																																								
設備機器用基礎	○	○	○	○	鋼製架台は設備工事																																																																																																																																																																							
ルーフレイン排水金物	○	○	○	○																																																																																																																																																																								
換気扇等取付枠	○	○	○	○																																																																																																																																																																								
外壁面入給排気ガラリ及び防風板	○	○	○	○	図示による																																																																																																																																																																							
1. 令和5年度																																																																																																																																																																												
1-1 第二アリーナ冷暖房設備新設工事																																																																																																																																																																												
1-2 シャワー室換気設備改修工事																																																																																																																																																																												
1-3 事務室冷暖房設備新設工事																																																																																																																																																																												
2. 令和5年度(補正)																																																																																																																																																																												
2-1 キッズスペース改修工事																																																																																																																																																																												
3. 令和6年度																																																																																																																																																																												
3-1 第一アリーナ暖房設備改修工事																																																																																																																																																																												
3-2 ギャラリー暖房設備新設工事																																																																																																																																																																												
産業廃棄物収集運搬車																																																																																																																																																																												
業者名	(○ × × × × ×)																																																																																																																																																																											
許可番号	× × × × × ×																																																																																																																																																																											
<p>(8) 「建設リサイクル法」対象工事及び「リサイクル法」で定められた次の資材の搬入、副産物の搬出がある工事は、工事着手時に再資源利用・利用促進計画書を提出し、また、工事完了時に再資源利用・利用促進実施書を提出すること。 リサイクル法で定められた一定規模以上の工事(次表の一つでも該当するもの)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>再資源利用計画書</th> <th>再資源利用促進計画書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>次のような建築資材を搬入する工事</td> <td>次のような指定副産物を搬出する建設工事</td> </tr> <tr> <td>1. 土砂……………1, 000m³以上</td> <td>1. 土砂……………1, 000m³以上</td> </tr> <tr> <td>2. 砕石……………500t以上</td> <td>2. コンクリート塊</td> </tr> <tr> <td>3. 加熱70℃以上混合土……………200t以上</td> <td>アスファルト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート塊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建設発生木材</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>200t以上</td> </tr> </tbody> </table>		再資源利用計画書	再資源利用促進計画書	次のような建築資材を搬入する工事	次のような指定副産物を搬出する建設工事	1. 土砂……………1, 000m ³ 以上	1. 土砂……………1, 000m ³ 以上	2. 砕石……………500t以上	2. コンクリート塊	3. 加熱70℃以上混合土……………200t以上	アスファルト		コンクリート塊		建設発生木材		合計		200t以上																																																																																																																																																									
再資源利用計画書	再資源利用促進計画書																																																																																																																																																																											
次のような建築資材を搬入する工事	次のような指定副産物を搬出する建設工事																																																																																																																																																																											
1. 土砂……………1, 000m ³ 以上	1. 土砂……………1, 000m ³ 以上																																																																																																																																																																											
2. 砕石……………500t以上	2. コンクリート塊																																																																																																																																																																											
3. 加熱70℃以上混合土……………200t以上	アスファルト																																																																																																																																																																											
	コンクリート塊																																																																																																																																																																											
	建設発生木材																																																																																																																																																																											
	合計																																																																																																																																																																											
	200t以上																																																																																																																																																																											
工事標識																																																																																																																																																																												
工事名	_____																																																																																																																																																																											
発注者	_____																																																																																																																																																																											
工事期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日																																																																																																																																																																											
受注者	_____																																																																																																																																																																											
設計者	_____																																																																																																																																																																											
工事監督者	_____																																																																																																																																																																											
工事現場	_____																																																																																																																																																																											
連絡所	_____																																																																																																																																																																											
実施対象建物名称	実施部位	実施時期																																																																																																																																																																										
○	○基礎工事	配筋完了時																																																																																																																																																																										
○	○	躯体完了時																																																																																																																																																																										
○	○	鉄骨建方完了時																																																																																																																																																																										
○	○	完了時																																																																																																																																																																										
○	○	完了時																																																																																																																																																																										

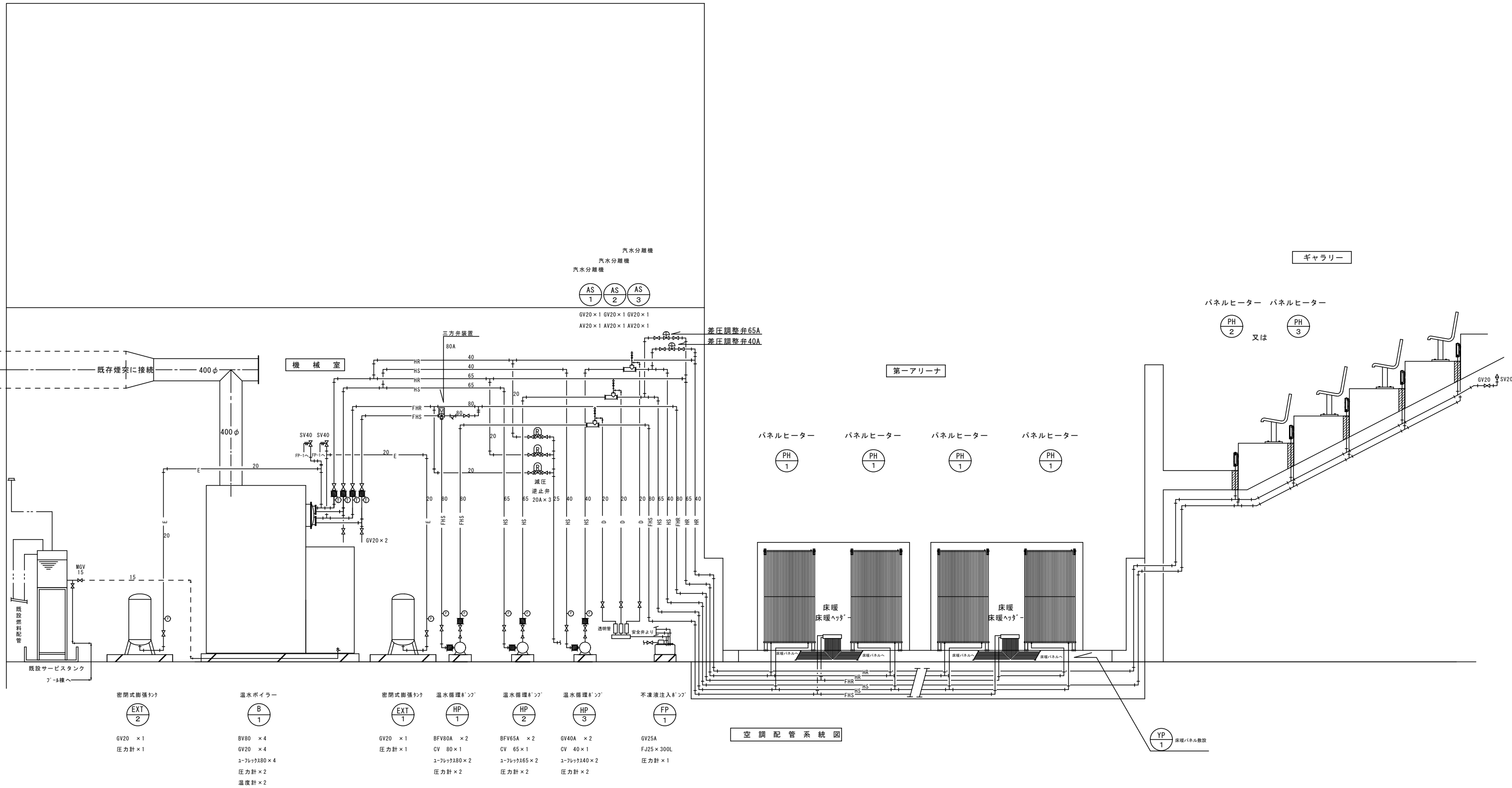
代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体	設計年月日 2023. 3.	工事名称 茅室町総合体育館改修工事	縮尺 NO SCALE	
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)					
代表者: (株) 創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	査 閲	校 正	担 当	図面名称 特記仕様書(1) 衛生・空調共通	図 面 番 号 M-101

本棟機器はR5年度当初工事分

記号	名称	仕様	数量	動力			設置場所	基礎	備考
				相(φ)	電圧(V)	動力(kw)			
B-1	アリーナ暖房用ボイラー	型式：真空式2回路型、缶体出力：465KW/H 暖房能力：179,000kcal/H(温水温度40℃→30℃) 暖房能力：229,000kcal/H(温水温度65℃→75℃) バーナー：A重油焚(51.8L/H)	1	3	200	2.08	1階機械室	標準基礎(A) H=150	タクマKSAN-400 一括故障表示端子付
HP-1	温水循環ポンプ	渦巻きポンプ：80φ×400L/min×20m 防振架台、不凍液対応型	1	3	200	3.7	1階機械室	標準基礎(A) H=150	床暖パネル系統
HP-2	温水循環ポンプ	渦巻きポンプ：65φ×300L/min×20m 防振架台、不凍液対応型	1	3	200	3.7	1階機械室	標準基礎(A) H=150	第一アリーナーパネルヒーター系統
HP-3	温水循環ポンプ	渦巻きポンプ：32φ×100L/min×20m 防振架台、不凍液対応型	1	3	200	2.2	1階機械室	標準基礎(A) H=150	ギャラリーパーネルヒーター系統
FP-1	不凍液注入ポンプ	受水槽付小型定圧給水ポンプ、単独運転型 2.5φ×25L/min×20m 受水槽FRP製500L	1	3	200	0.4	1階機械室	標準基礎(A) H=150	不凍液系統
EXT-1	膨張タンク	型式：密閉式、最高使用圧力：0.6kg/m ² 最大吸収量：109L、タンク容量：215L	1				1階機械室	標準基礎(A) H=150	床暖パネル系統
EXT-2	膨張タンク	型式：密閉式、最高使用圧力：0.6kg/m ² 最大吸収量：66L、タンク容量：130L	1				1階機械室	標準基礎(A) H=150	パネルヒーター系統
SM-1	ばい煙濃度計	投光器、受光器(ファン付)	1				1階機械室		既存再使用
AS-1	汽水分離機	防蝕サイレンサー 口径80A、自動17-抜き弁共 空調用	1				1階機械室		床暖パネル系統
AS-2	汽水分離機	防蝕サイレンサー 口径65A、自動17-抜き弁共 空調用	1				1階機械室		第一アリーナーパネルヒーター系統
AS-3	汽水分離機	防蝕サイレンサー 口径40A、自動17-抜き弁共 空調用	1				1階機械室		ギャラリーパーネルヒーター系統
YP-1	床暖パネル	ゴムチップパネル 放熱能力2,080W/m ² 放熱器循環水量4.0L/min 12.17L/枚	100				第一アリーナ		床暖パネル系統
PH-1	パネルヒーター	暖房能力10,313W 1,400×2,500×164D 自立型金物、壁固定金物、サーモバルブ共 防球ネット(建築工事)	20				第一アリーナ		第一アリーナーパネルヒーター系統
PH-2	パネルヒーター	暖房能力1,437W 3,500×218H×57D 自立型、サーモバルブ、保護カバー共	10				ギャラリ		ギャラリーパーネルヒーター系統
PH-3	パネルヒーター	暖房能力1,848W 4,500×218H×57D 自立型、サーモバルブ、保護カバー共	25				ギャラリ		ギャラリーパーネルヒーター系統

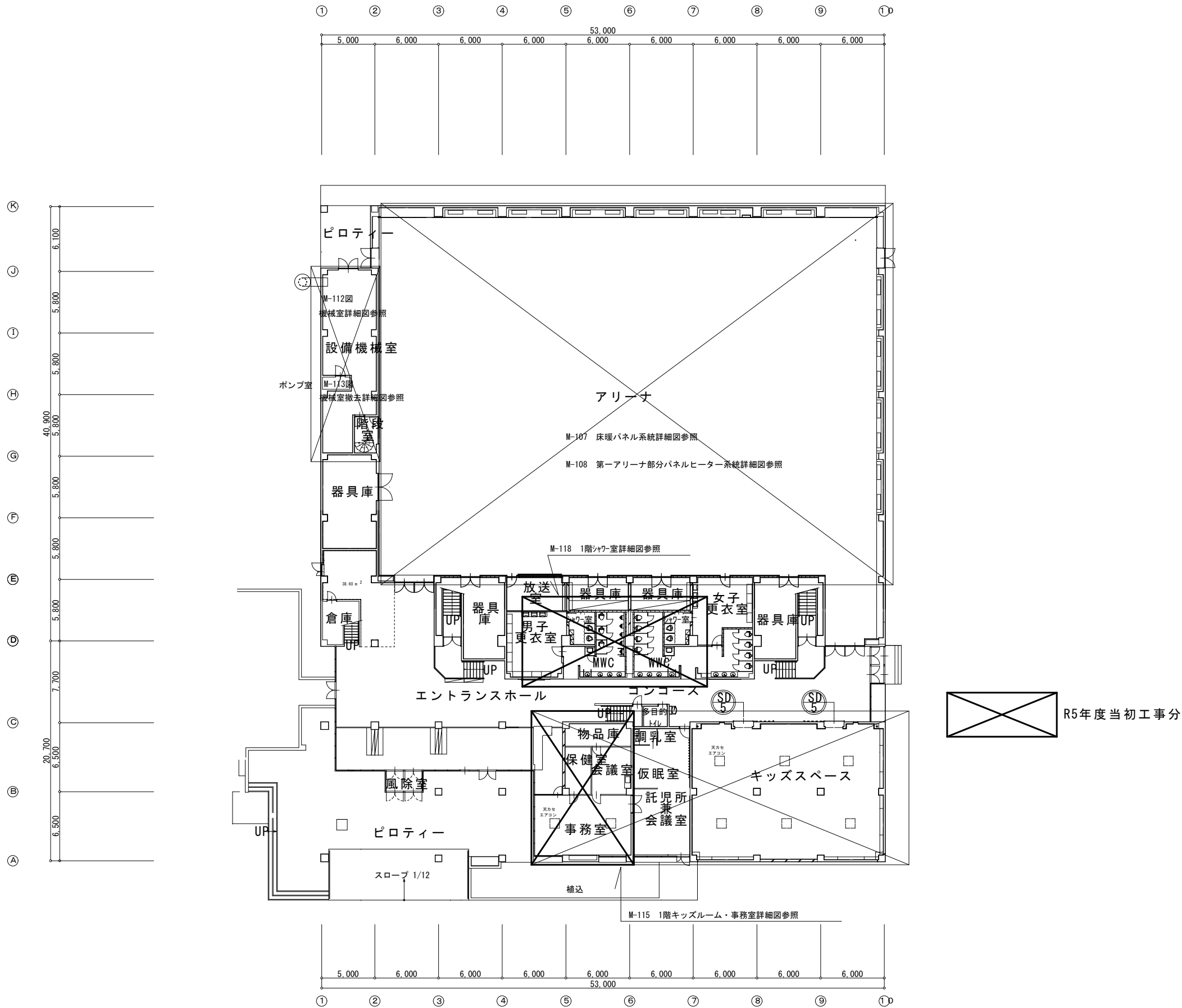
記号	名称	仕様	数量	動力			設置場所	基礎	備考
				相(φ)	電圧(V)	動力(kw)			
EHP-1	空冷ヒートポンプエアコン	マルチ型室外機、寒冷地用冷暖切換え型 定格冷房能力85.0KW 暖房能力95.0KW 防振架台、防雪フード、室外機鉄骨架台共	1	3	200	38.85	屋外1階		建築工事 PUHY-WP650SDMG5
EHP-1-1	空冷ヒートポンプエアコン	室内機、天井カセット4方向型 冷房能力11.2KW、暖房能力12.5KW 昇降パネル、多機能Eco共	8	1	200	0.08	2階第二アリーナ		PUFY-P112EMG8
EHP-2	空冷ヒートポンプエアコン	マルチ型室外機、寒冷地用冷暖切換え型 定格冷房能力14.0KW 暖房能力16.0KW 防振架台、防雪フード、室外機鉄骨架台共	1	3	200	7.9	屋外1階		建築工事 (将来工事) PUFY-HP140MH3
EHP-2-1	空冷ヒートポンプエアコン	室内機、天井カセット4方向型 冷房能力7.1KW、暖房能力8.5KW 昇降パネル、多機能Eco共	2	1	200	0.04	2階研修室		(将来工事) PLFY-P71EMG8
EHP-3	空冷ヒートポンプエアコン	マルチ型室外機、寒冷地用冷暖切換え型 定格冷房能力16.0KW 暖房能力18.0KW 防振架台、防雪フード、室外機鉄骨架台共	1	3	200	9.1	屋外1階		建築工事 PUFY-HP160MH3
EHP-3-1	空冷ヒートポンプエアコン	室内機、天井カセット4方向型 冷房能力5.6KW、暖房能力6.3KW 昇降パネル、多機能Eco共	3	1	200	0.02	1階キッズスペース		PUFY-P56EMG8
EHP-4	空冷ヒートポンプエアコン	マルチ型室外機、寒冷地用冷暖切換え型 定格冷房能力11.2KW 暖房能力12.5KW 防振架台、防雪フード、室外機鉄骨架台共	1	3	200	6.86	屋外1階		建築工事 PUFY-HP112MH3
EHP-4-1	空冷ヒートポンプエアコン	室内機、天井カセット4方向型 冷房能力5.6KW、暖房能力6.3KW 昇降パネル、多機能Eco共	2	1	200	0.02	1階事務所		PLSY-P56EMG8
	システムコントローラ	運転発停、温度管理、異常表示、キッズルームの空調換気扇の発停	1	1	100		1階事務所		PAC-SF50AT2
HEU-1	空調換気扇	天井埋込型空調換気扇 200φ×480m3/H×100Pa ジーニアスリモコン(電気工事に支給)、防振吊り金物共	2	1	100	0.32	1階キッズスペース		LGH-N50RXW
EF-1	排風機	ストレートシロッコファン 消音型耐湿タイプ 150φ×180m3/H×150Pa	2	1	100	0.057	男女シャワー室		BFS-40SYA2

代表となる設計者：太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体	設計年月日 2023.3.			工事名称 芽室町総合体育館改修工事	縮尺 NO SCALE
その他の設計者：菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		代表者：(株)創造設計舎 管理建築士：一級建築士登録第216909号 太田 豊	査 閲	校 正	担 当	図面名称 空調機器表



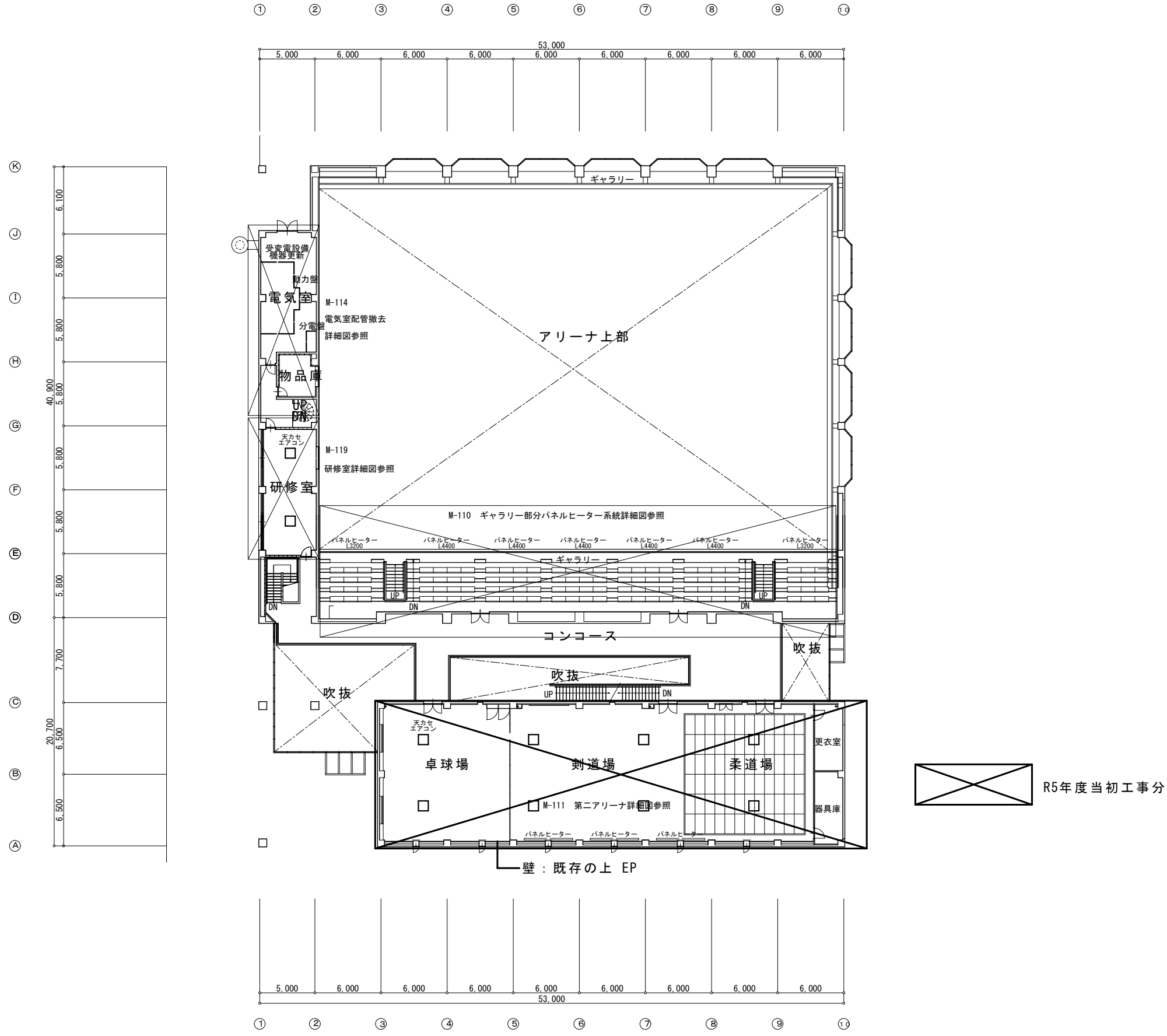
空調配管系統図

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	NO SCALE
		査 閲	校 正	担 当	図面名称	空調配管系統図	図 面 番 号

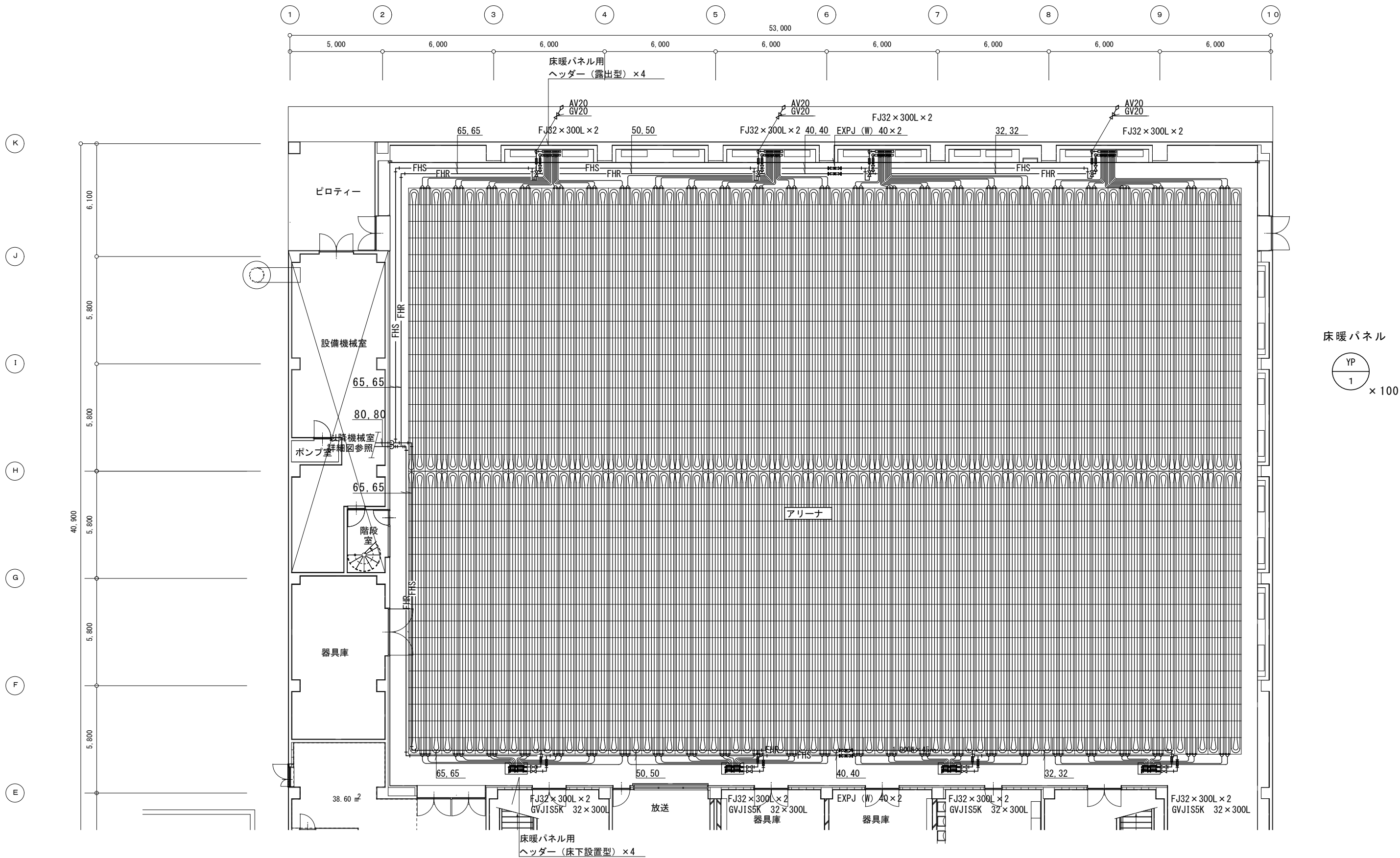


改修後平面図 1 : 400

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
		査 閲 校 正 担 当		図面名称	空調設備 1階平面図	図面番号	M-105

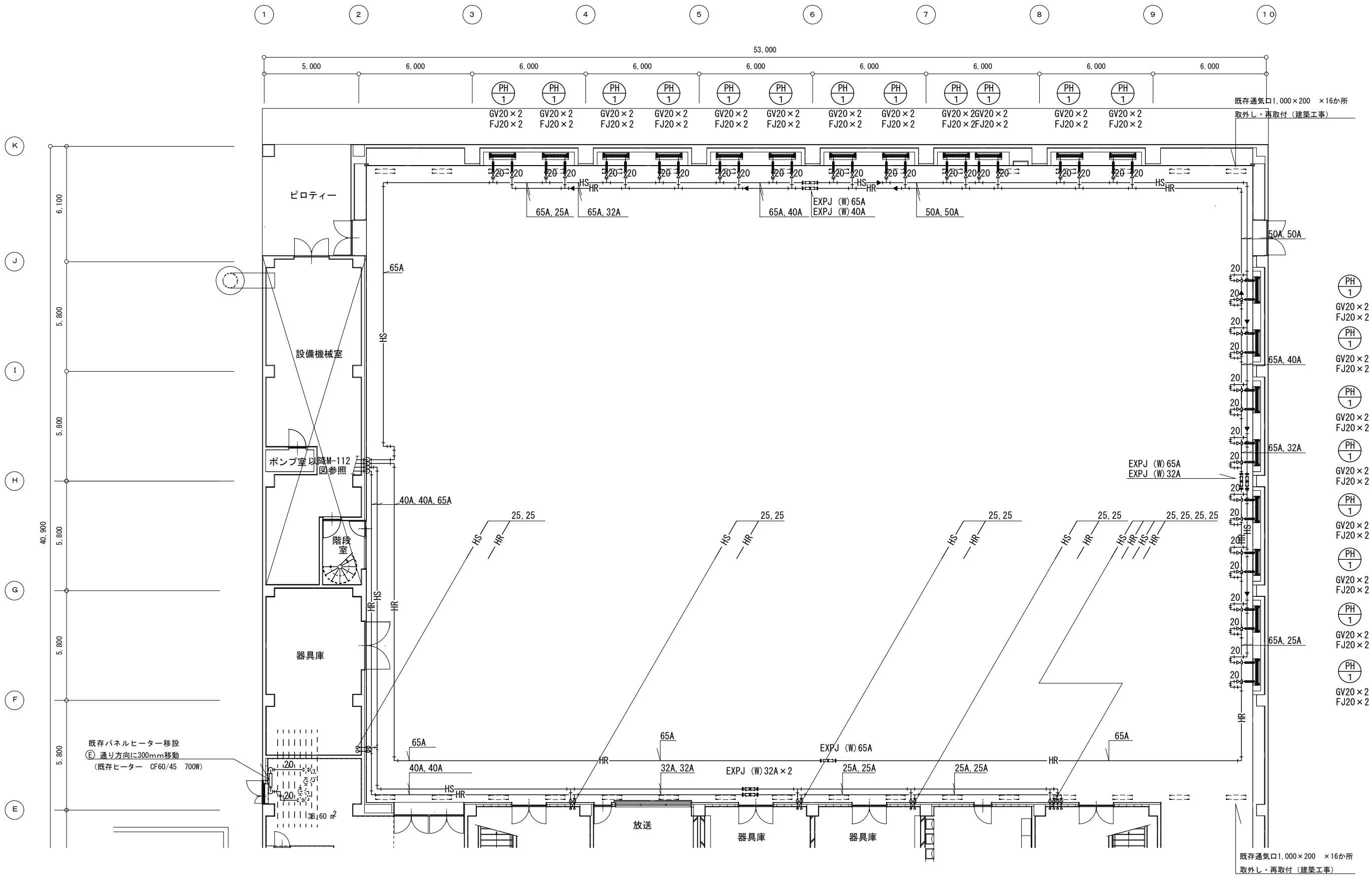


代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日 2023. 3 .		工事名称 茅室町総合体育館改修工事	縮尺 A1:1/200 A3:1/400 図面番号 M-106
		査 閲	校 正	担 当	



1階第一アリーナ平面図

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		査 閲	校 正	担 当	図面名称	床暖パネル系統詳細図	図 面 番 号



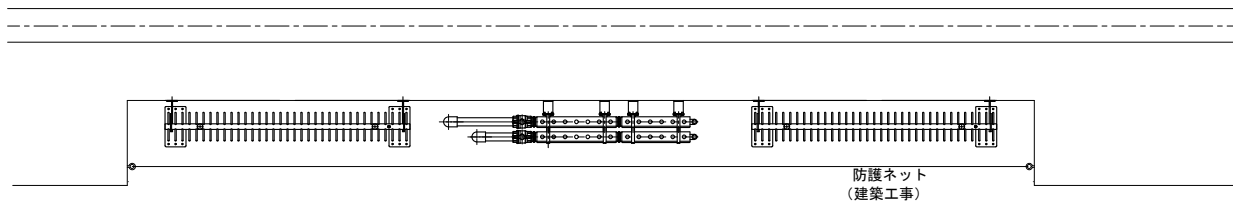
1階第一アリーナ平面図

凡 例

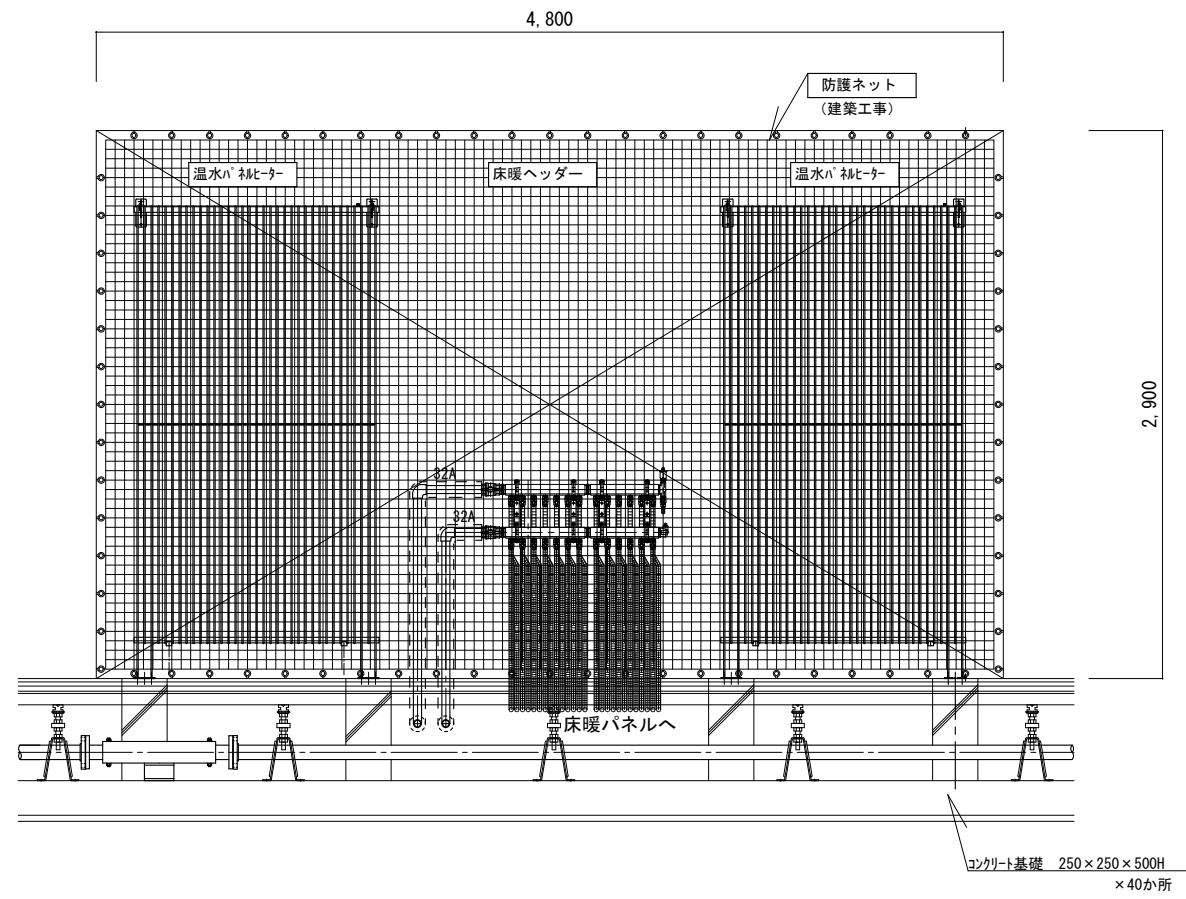
□ □ □ 既存通気口1,000×200 を示す。
 取外し・再取付 (建築工事) ×32力所

--- 既存暖房配管を示す。

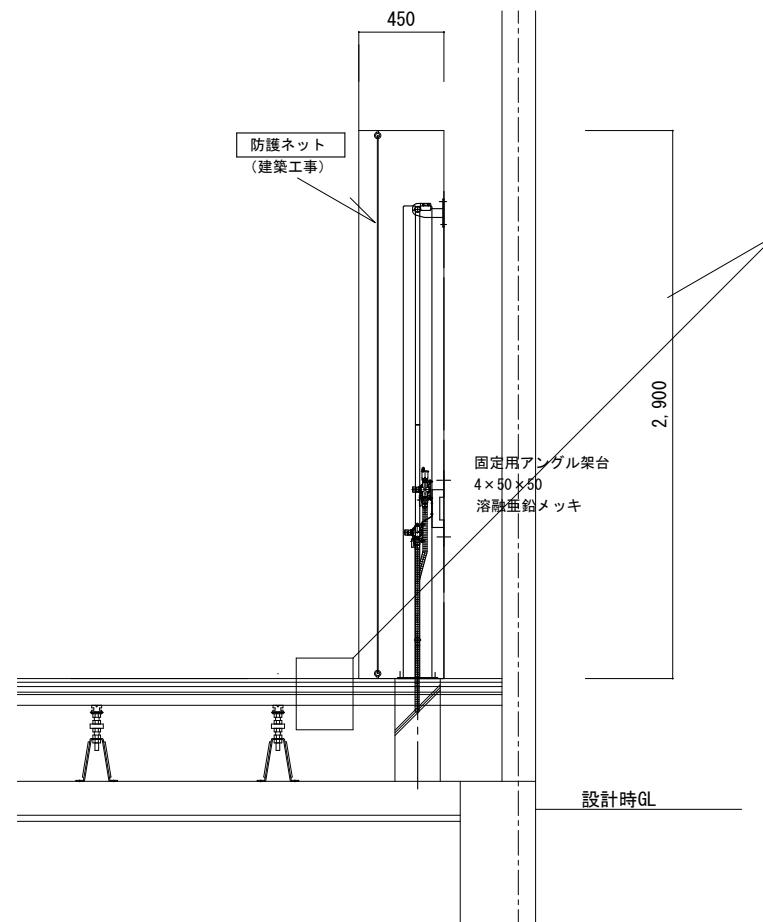
代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮 尺	A1:1/100 A3:1/200
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		査 閲		校 正		担 当	
	代表 者: (株) 創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊				パネルヒーター系統詳細図	M-108	



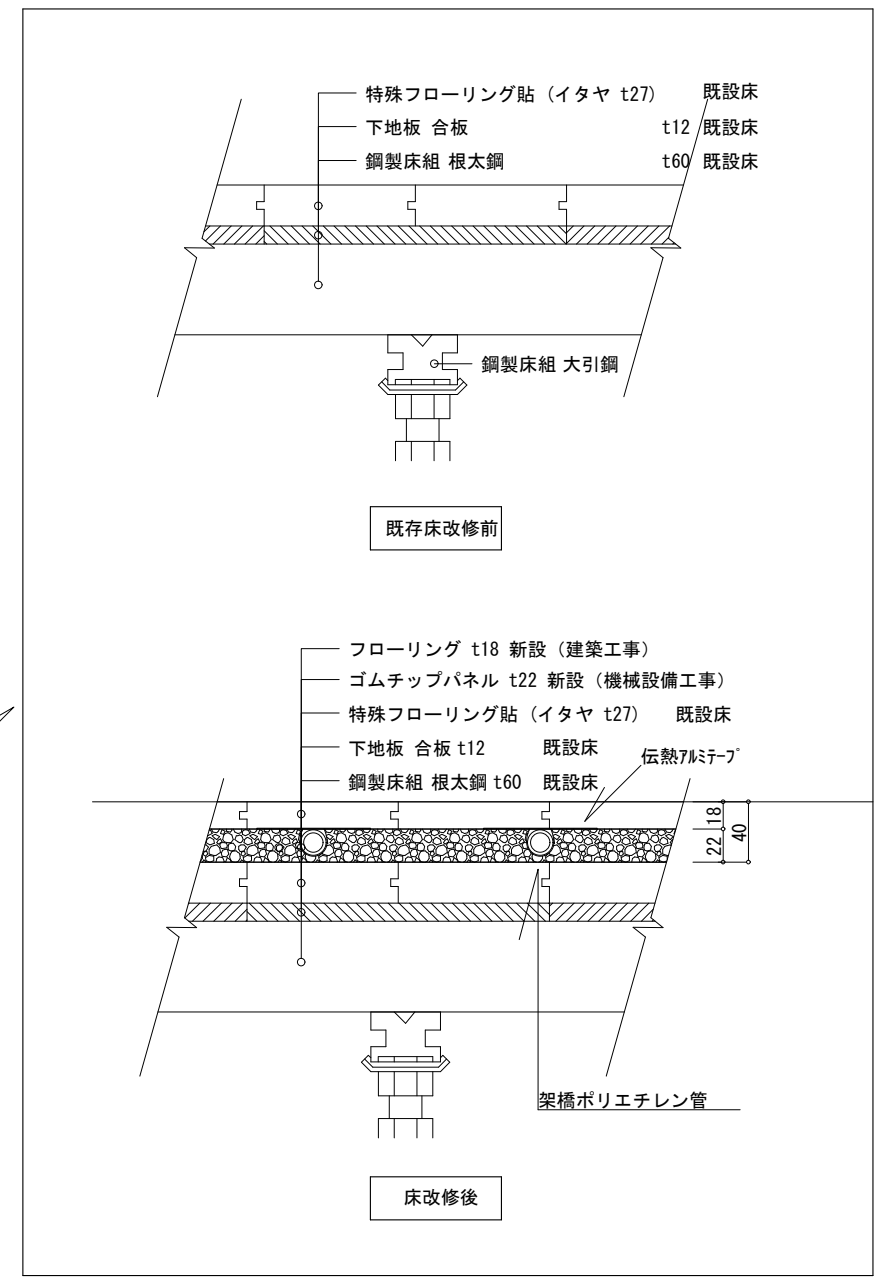
アリーナ 改修後 平面詳細図



アリーナ 改修後 断面図

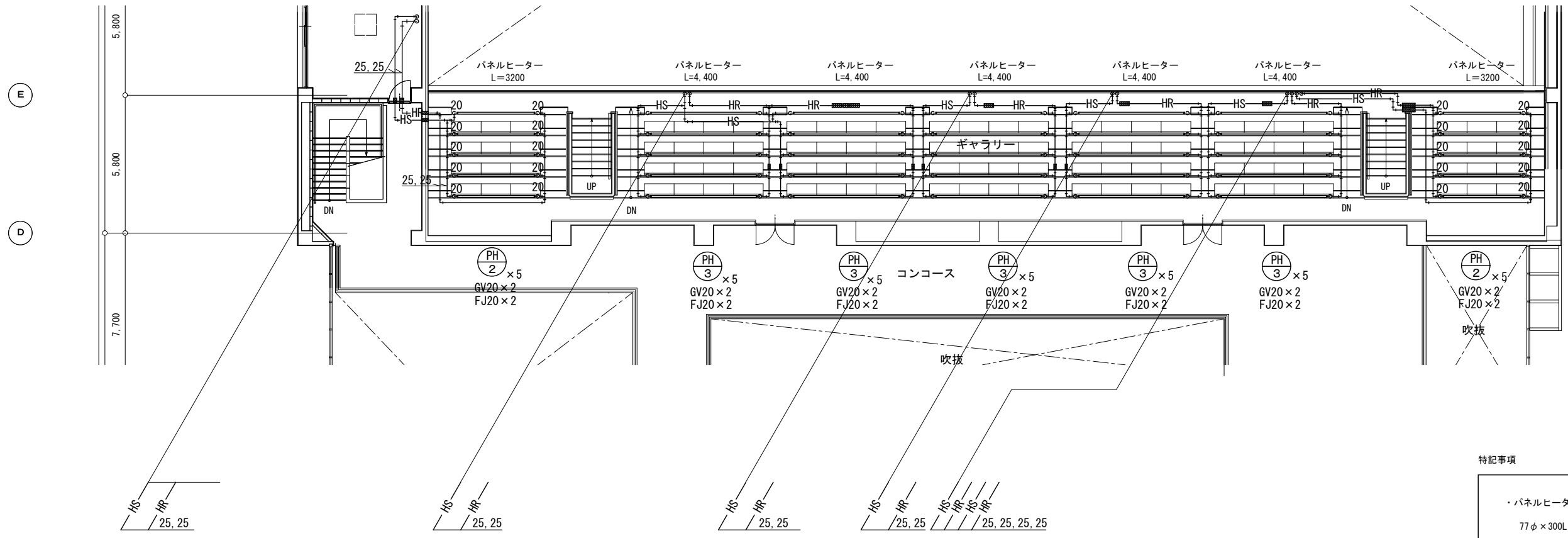
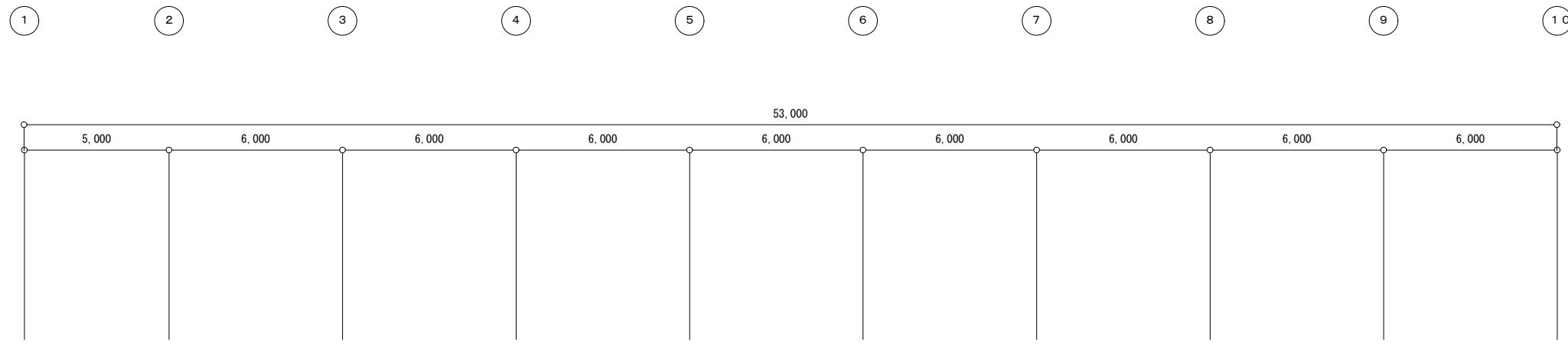


アリーナ 改修後 側面図



床仕上詳細図 1/5

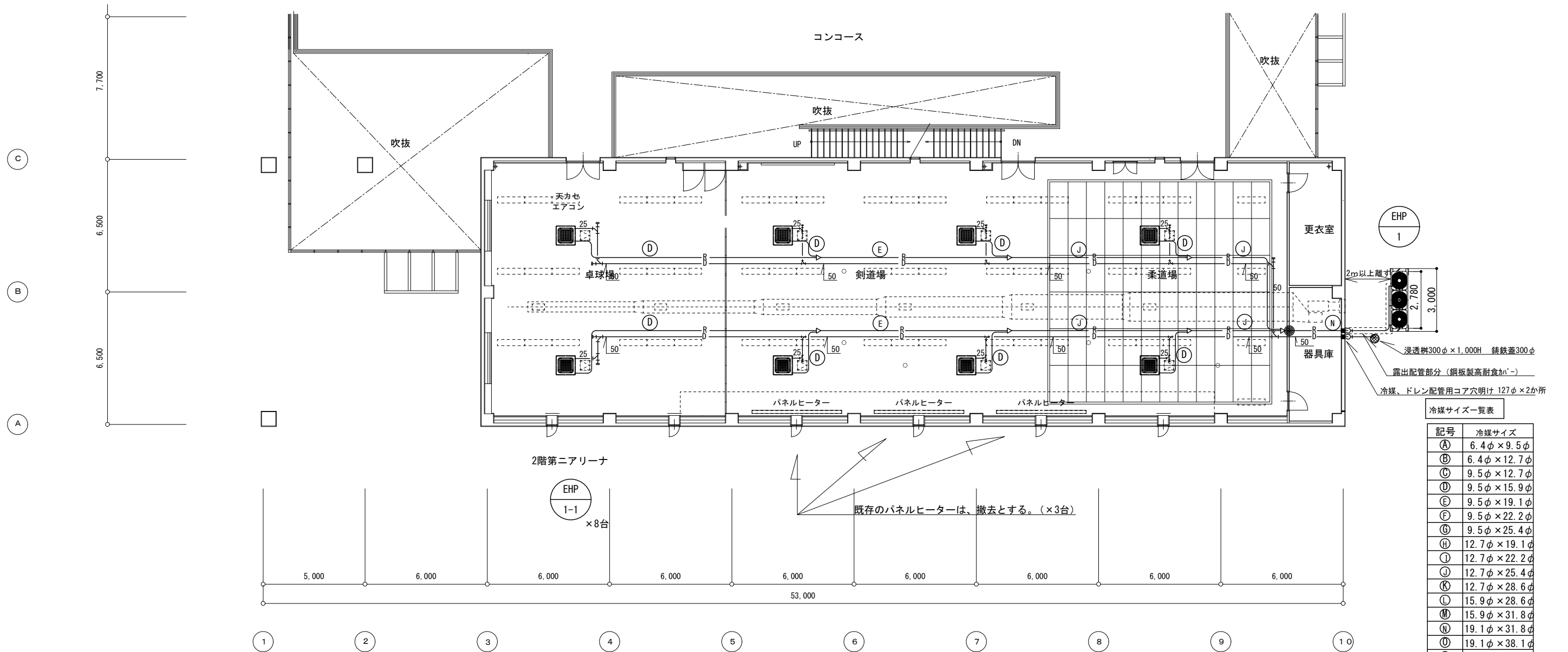
代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	NO SCALE
		査 閲	校 正	担 当	図面名称	パネルヒーター部分詳細図	図 面 番 号



2階ギャラリー平面図

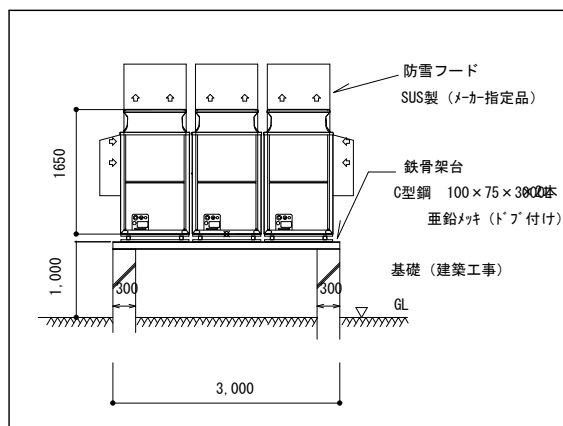
- 特記事項
- ・パネルヒーター用暖房配管コア抜き数量 77φ×400L×7か所
77φ×300L×2か所, 77φ×250L×1か所, 77φ×200L×8か所
 - ・パネルヒーター用暖房配管立上げ部分は、コア抜きとする。
 - 上記数量 77φ×300L×70か所
 - 配管用コア穴明け部分については、非破壊検査を行い
監督員の許可を得る事。

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		査 閲	校 正	担 当	図面名称	ギャラリー部分パネルヒーター系統詳細図	図 面 番 号



冷媒サイズ一覧表

記号	冷媒サイズ
(A)	6.4φ×9.5φ
(B)	6.4φ×12.7φ
(C)	9.5φ×12.7φ
(D)	9.5φ×15.9φ
(E)	9.5φ×19.1φ
(F)	9.5φ×22.2φ
(G)	9.5φ×25.4φ
(H)	12.7φ×19.1φ
(I)	12.7φ×22.2φ
(J)	12.7φ×25.4φ
(K)	12.7φ×28.6φ
(L)	15.9φ×28.6φ
(M)	15.9φ×31.8φ
(N)	19.1φ×31.8φ
(O)	19.1φ×38.1φ
(P)	22.2φ×38.1φ

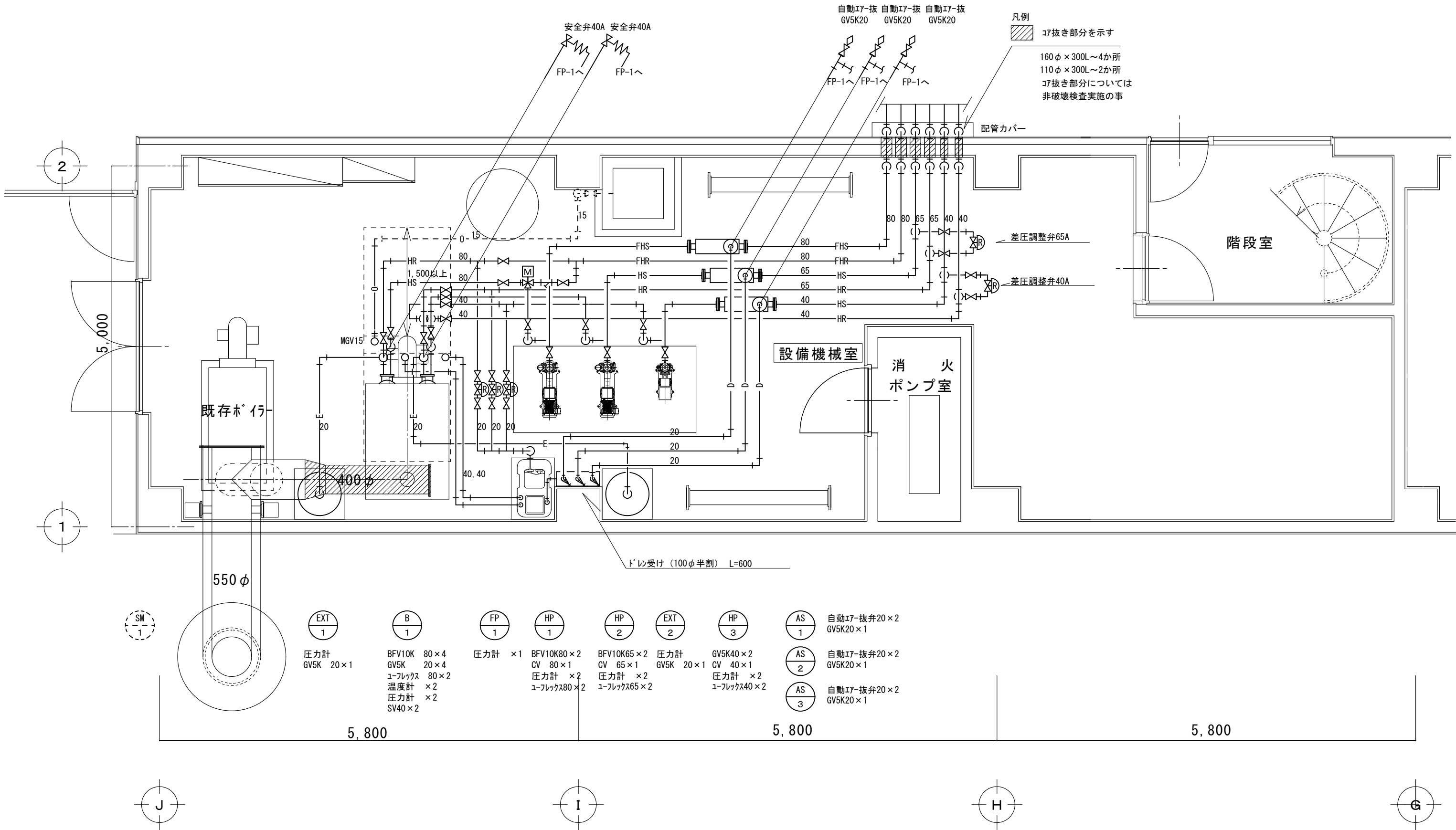


室外機廻り詳細図 1/100

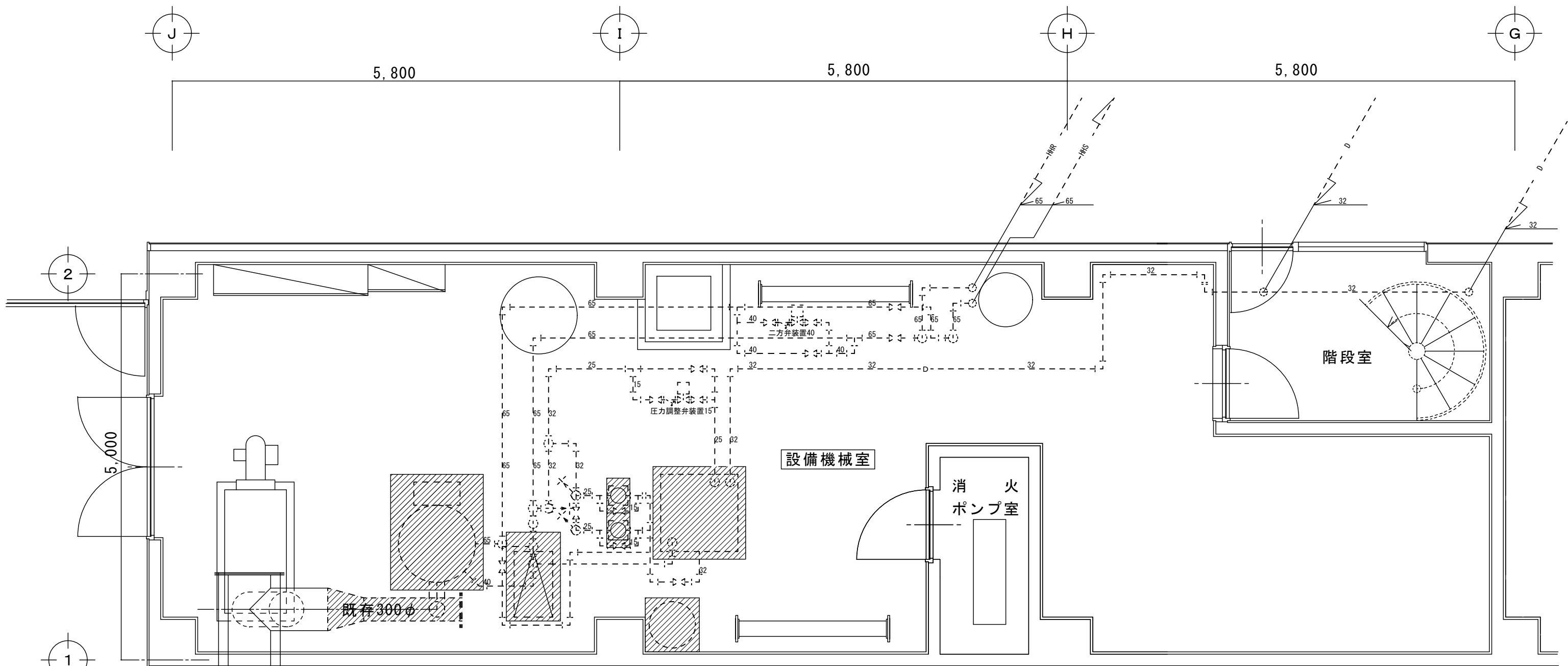
R5年度当初工事分

- 特記事項
- ・室内機の設置位置、及びリモコンのグループ分け、取付位置は監督員と協議の上決定する。
 - ・屋外露出配管部分はRDカバー(高耐食製)を施す。
 - 防火区画貫通部は、日本消防設備安全センター評定品
 - ・国土交通大臣認定工法による区画処理を行う。
 - ・集中リモコンは、1階事務所設置とする。
 - ・個別リモコンは、室内設置とする。
 - ・天井点検口450φ(建築工事)を示す []
 - ・区画処理材 国土交通大臣認定 PS060FL-9369(床)
 - ・国土交通大臣認定 PS060WL-0534(壁) PS060WL-0467(壁・中空壁)
 - ・配管用コア穴明け部分については、非破壊検査を行い監督員の

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		査 閲		校 正		担 当	
	代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊						

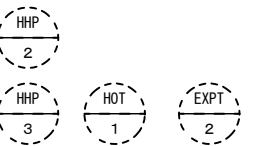


代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	芽室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/25 A3:1/50
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		代表者: (株) 創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊		査 閲		校 正	
					機械室詳細図	M-112	



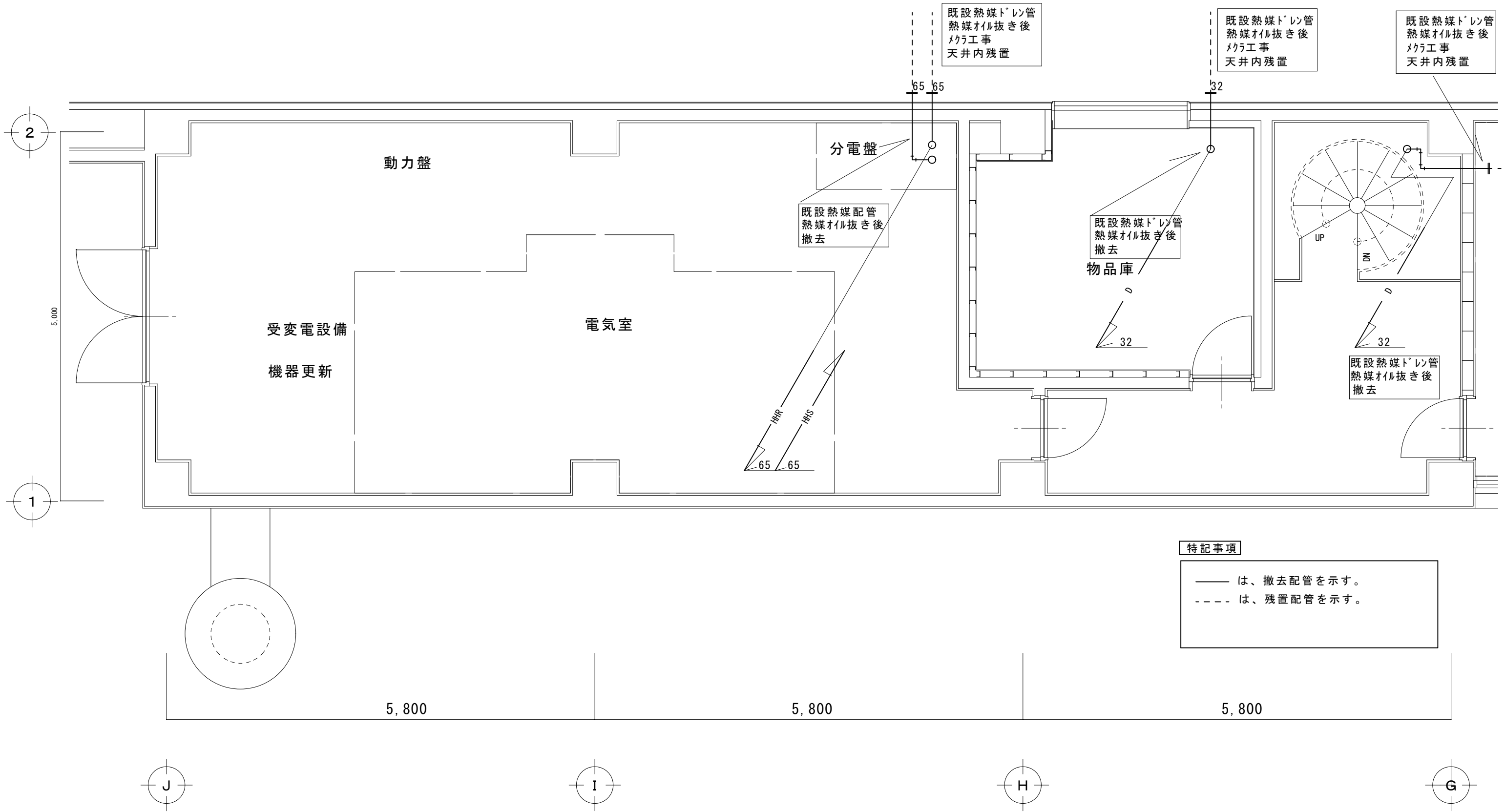
特記事項

は、撤去部分を示す。(基礎撤去は建築工事)
 は、撤去器具番号を示す。
 は、撤去配管を示す。
 B-2の熱媒体ボイラーに関するオイル関係は、産業廃棄物処理とする。



撤去機器一覧表

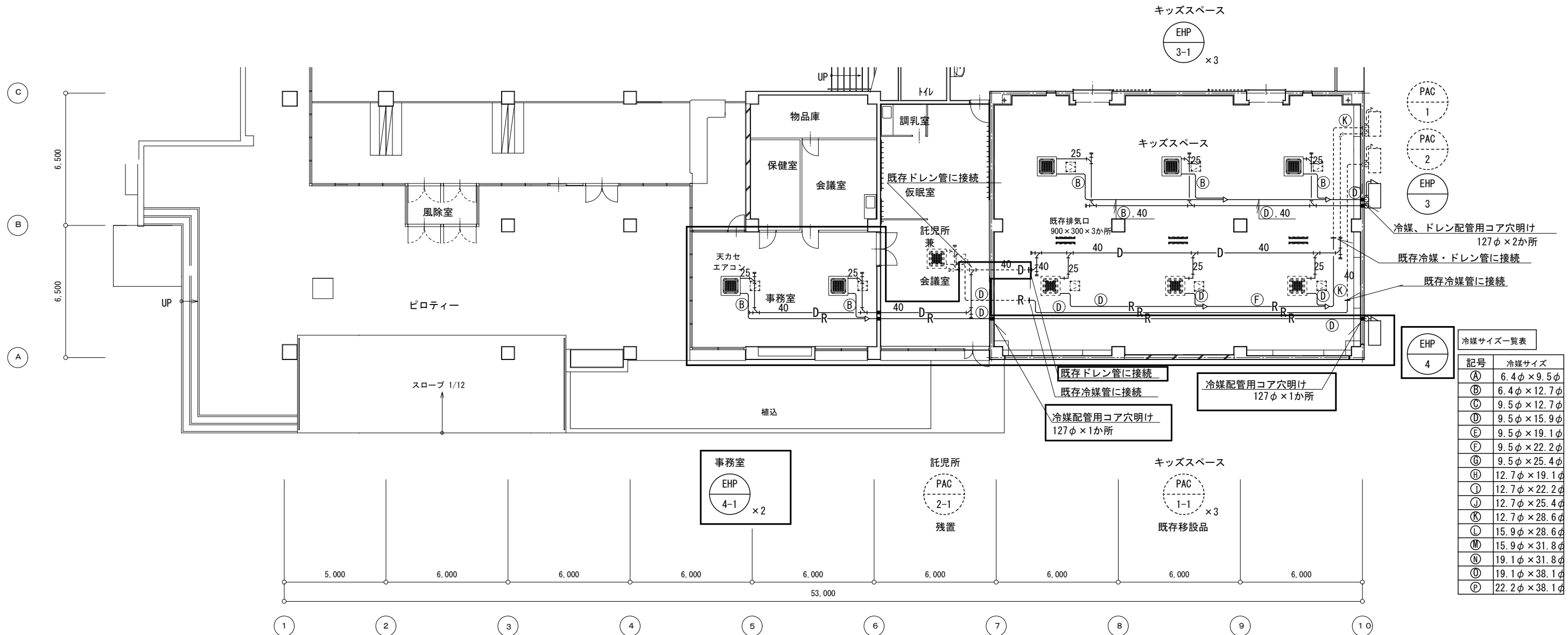
記号	名称	仕様	数量	動力			設置場所	基礎	備考
				相(φ)	電圧(V)	動力(kw)			
B-2	アリーナ暖房用ボイラー	熱媒体ヒーター	1	3	200		1階機械室	標準基礎(A)	タクマNH-40A
		A重油焚き							熱出力: 400,000kcal/H (熱媒体温度115°C→145°C)
HHP-1	熱媒体循環ポンプ	渦巻きポンプ: 65φ×500L/min×45m	1	3	200	7.5	1階機械室	H=300	耐熱150°C
HHP-2	熱媒体加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ: 25φ×16L/min×60m	1	3	200	0.75	1階機械室	H=300	耐熱130°C
HHP-3	熱媒体加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ: 25φ×16L/min×28m	1	3	200	0.37	1階機械室	H=150	耐熱150°C
EXPT-2	膨張タンク	熱媒体用膨張タンク	1				1階機械室	H=150	
		1,000φ×1,500H 解放式							
HOT-1	加圧タンク	密閉式タンク, 瞬間使用圧力10KG/m ² 恒温槽付, 第二種圧力容器	1				1階機械室	H=150	



特記事項

—— は、撤去配管を示す。
 ----- は、残置配管を示す。

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエブク 設計共同企業体	設計年月日		工事名称	縮尺
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		2023. 3.			
	代表者: (株) 創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	査 閲	校 正	担 当	図面名称
					2階電気室配管撤去詳細図
					図面番号 M-114



太枠部はR5年度当初工事分

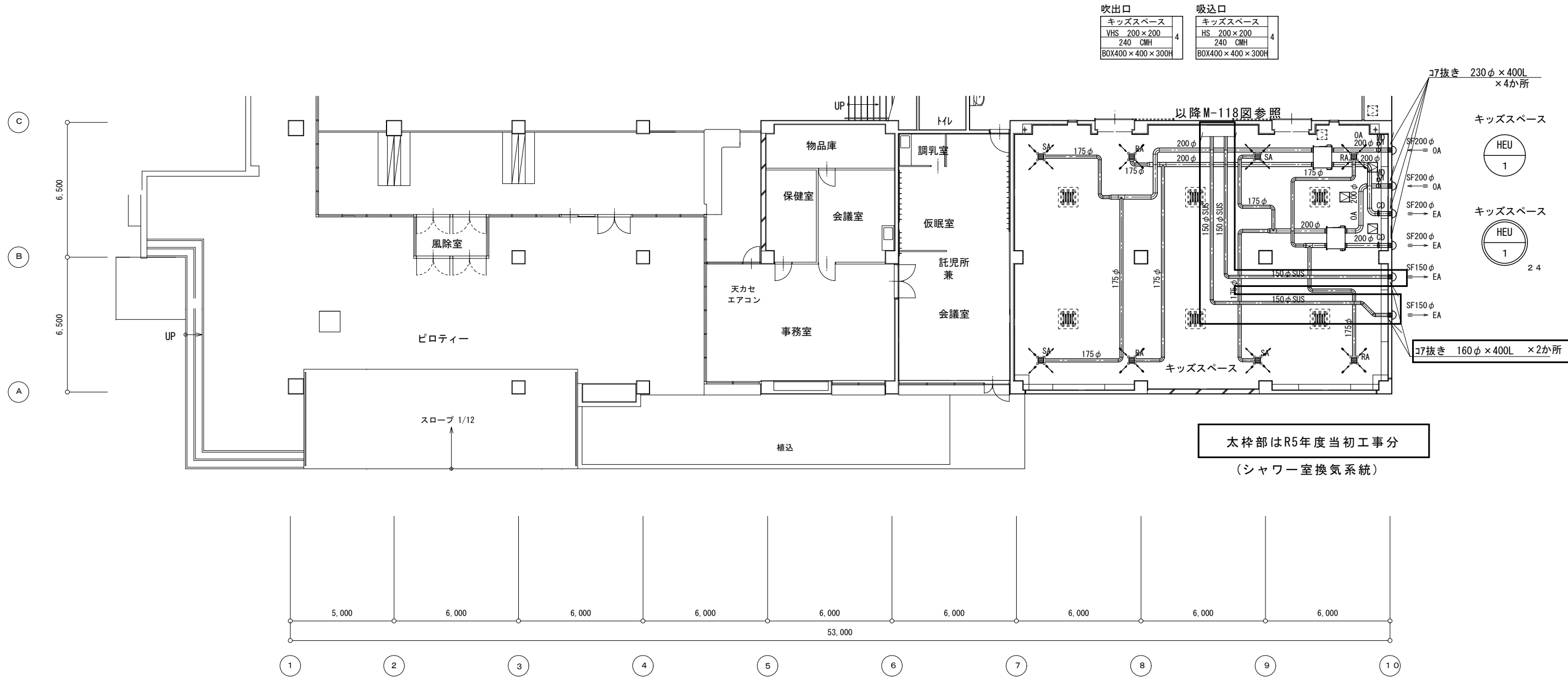
特記事項②

- は、既存器具番号を示す。
- は、既存配管を示す。
- 配管用コア穴明け部分については、非破壊検査を行い監督員の許可を得る事。

特記事項①

- 室内機の設置位置、及びリモコンのグループ分け、取付位置は監督員と協議の上決定する。
- 屋外露出配管部分はR.Dカバー(高耐食製)を施す。
- 防火区画貫通部は、日本消防設備安全センター評定品 国土交通大臣認定工法による区画処理を行う。
- 集中リモコンは、1階事務所設置とする。
- 個別リモコンは、室内設置とする。
- 天井点検口450φ(建築工事)を示す
- 区画処理材 国土交通大臣認定 PS060FL-9369(床)
- 国土交通大臣認定 PS060WL-0534(壁) PS060WL-0467(壁・中空壁)





代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊		査 閲		校 正		担 当



換気計算表

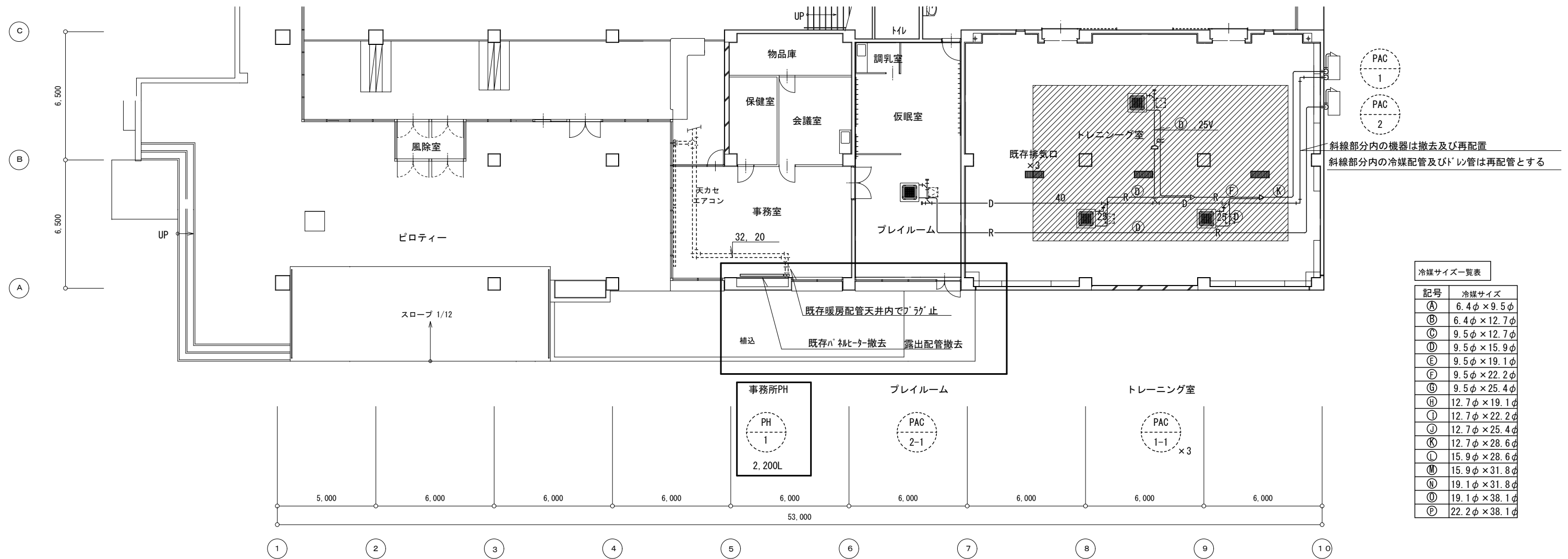
室名	各室条件			シックハウス対策の換気計算 (V = 室容積 x 換気回数)				床面積による換気計算 (V=20x床面積/占有面積)		換気回数による換気計算 (V=室容積x換気回数)		必要換気量計 (m3/h)	設計換気量	
	床面積 m2	天井高さ m	室容積 m3	対象	換気回数 (回/h)	必要風量 (m3/h)	設計風量 (m3/h)	占有面積 (m2)	必要風量(A) (m3/h)	換気回数 (回/h)	必要風量(B) (m3/h)		給気 (m3/h)	排気 (m3/h)
【1階】														
キッズスペース HEU-1 x 2	236.93	3.60	852.95	○	0.5	427	430	5	948			960 (480x2)	960	960

共通事項

- 1: 一般排気ダクトはスパイラルダクトとし外壁より2m部分はGW25t(防露施工)とする。
- 2: 一般給気ダクトはスパイラルダクトとし全てGW25t(防露施工)とする。
- 3: 全熱交換器のSAダクトは全てGW25t(防露施工)とする。
 24時間対応換気機器を示す。
- 4:  天井点検口450x450(建築工事)を示す。
- 5:  ドアガラリ(建築工事)を示す。
- 6:  配管用コア穴明け部分については、非破壊検査を行い監督員の許可を得る事。

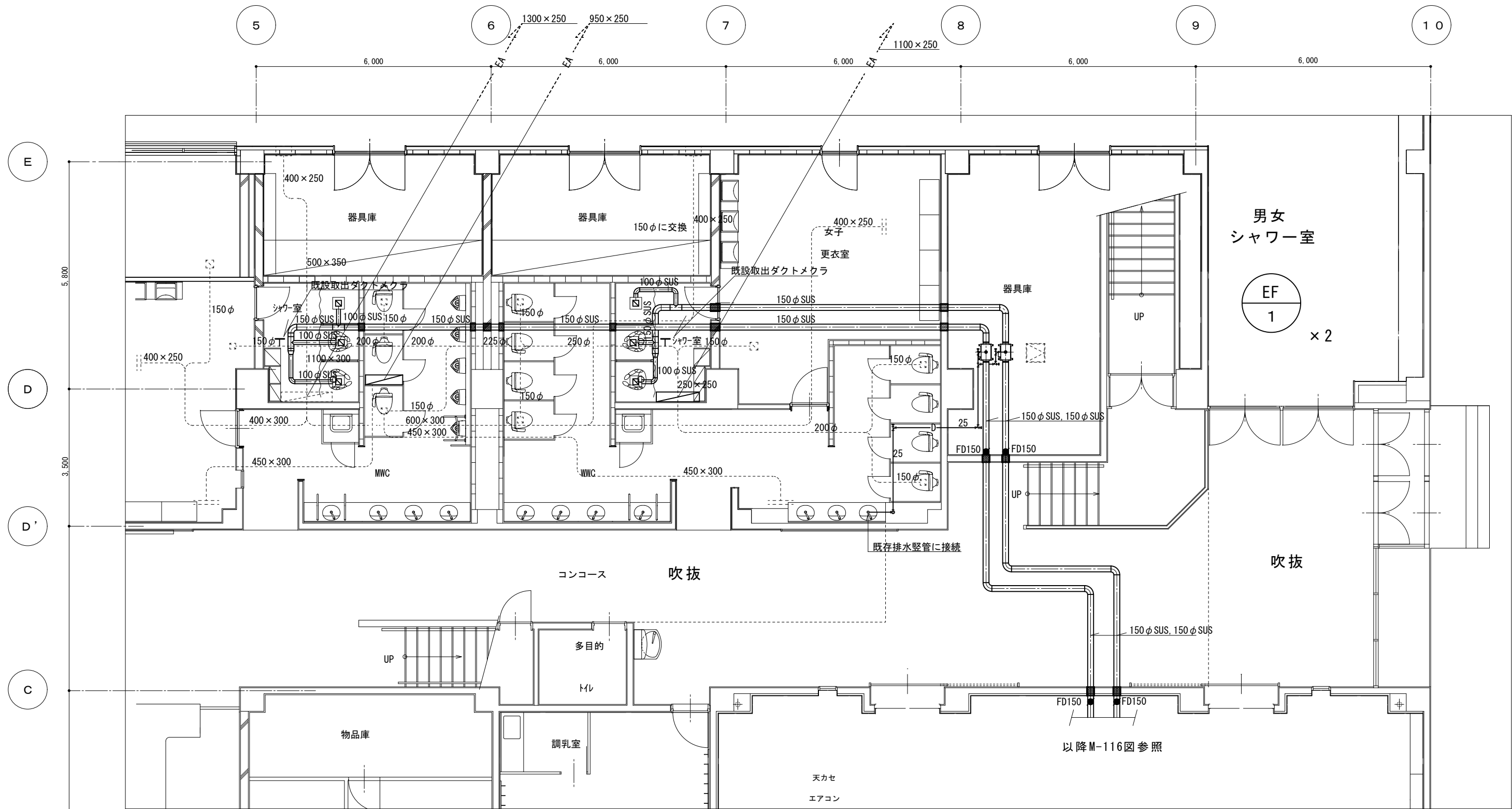
移設機器一覧表

記号	名称	仕様	台数	動力		設置場所	備考
				相(φ)	電圧(V) 動力(kw)		
PAC-1	空冷ヒートポンプエアコン	室外機 冷房能力/暖房能力=22.4/24.0KW マルチ型、壁取付、防雪フード共	1	3	200 10.1	屋外室外機置場	既存再使用
PAC-1	空冷ヒートポンプエアコン	室内機 天井吐口4方向吹出し型 冷房能力/暖房能力=7.1/8.0KW	3	1	200 0.057	トレーニング室	移設再使用
PAC-2	空冷ヒートポンプエアコン	室外機 冷房能力/暖房能力=7.1/8.0KW	1	3	200 3.7	屋外室外機置場	既存再使用
PAC-2-1	空冷ヒートポンプエアコン	室内機 天井吐口4方向吹出し型	1	1	200 0.057	屋外室外機置場	既存再使用、配管ルート変更
PH-1	パナヒーター	温水パナヒーター GF37/30 L=2,200	1			事務所	既存撤去



太枠部はR5年度当初工事分

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊		査 閲		校 正	
					既存トレーニング室・事務室撤去図	M-117	



改修案	
換気量	180CMH
排気器具	HS 200×200
床面積	7.3㎡
天井高さ	2.4H
室体積	17.6㎡
換気回数	10回/H
接続ダクト径	150φ

変更前	変更後
男子シャワー室	男子シャワー室
SR 150×150	HS 100×100 (SUS製)
50 CMH	60 CMH
1	3
	BOX (SUS製) 250×250×200H

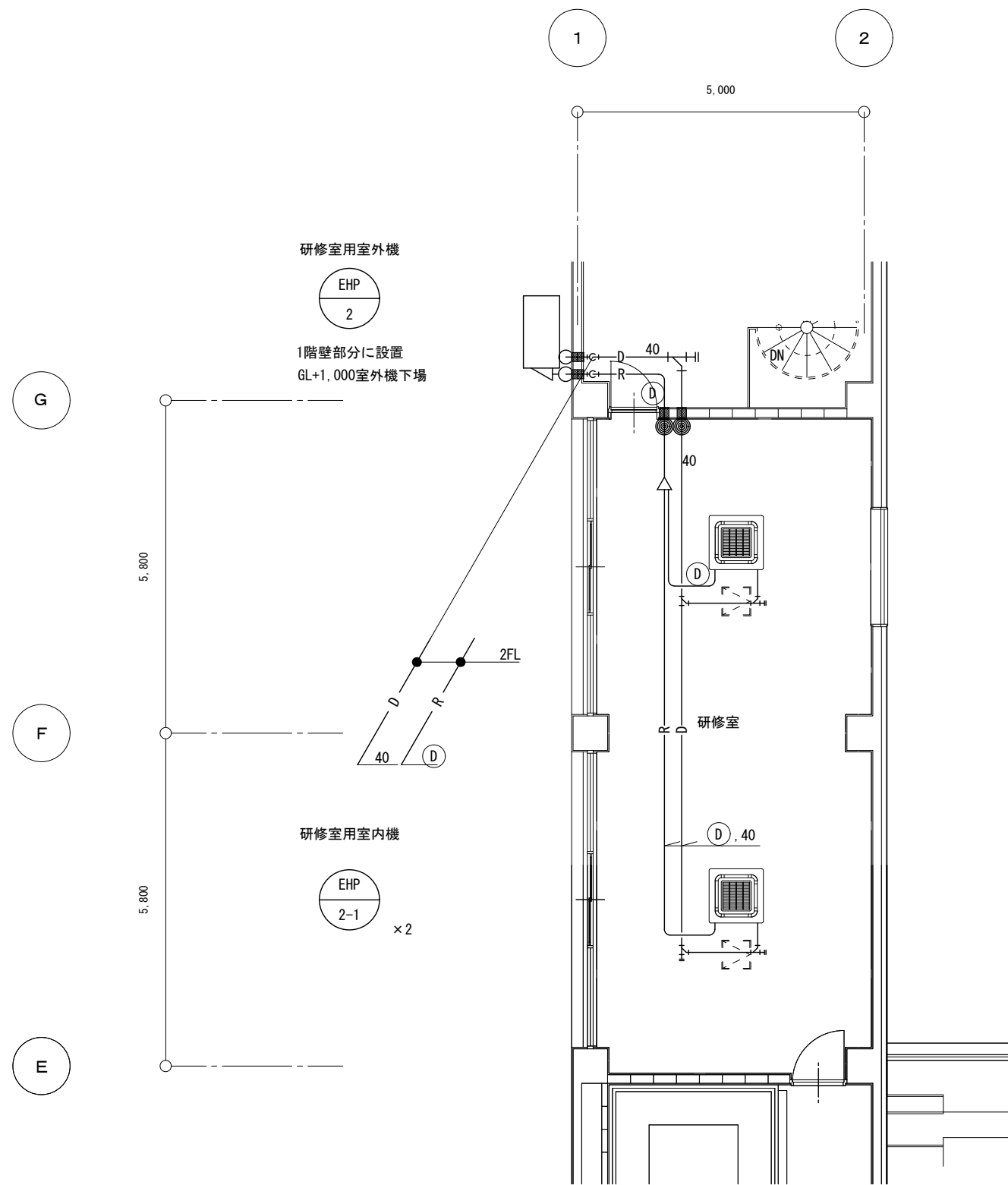
変更前	変更後
女子シャワー室	女子シャワー室
SR 150×150	HS 100×100 (SUS製)
50 CMH	60 CMH
1	3
	BOX (SUS製) 250×250×200H

変更前	変更後
男子シャワー室	男子シャワー室
SR 150×150	HS 100×100 (SUS製)
50 CMH	60 CMH
1	3
	BOX (SUS製) 250×250×200H

変更前	変更後
女子シャワー室	女子シャワー室
SR 150×150	HS 100×100 (SUS製)
50 CMH	60 CMH
1	3
	BOX (SUS製) 250×250×200H

【コ7抜き施工箇所】	
160φ×250L	~ 4か所
160φ×200L	~ 5か所
160φ×150L	~ 4か所
■ 配管用コア穴明け部分については、 非破壊検査を行い監督員の許可を得る事。	

R5年度当初工事分



研修室用室外機



1階壁部分に設置
GL+1,000室外機下場

研修室用室内機



× 2

冷媒サイズ一覧表

記号	冷媒サイズ
Ⓐ	6.4φ × 9.5φ
Ⓑ	6.4φ × 12.7φ
Ⓒ	9.5φ × 12.7φ
Ⓓ	9.5φ × 15.9φ
Ⓔ	9.5φ × 19.1φ
Ⓕ	9.5φ × 22.2φ
Ⓖ	9.5φ × 25.4φ
Ⓗ	12.7φ × 19.1φ
Ⓘ	12.7φ × 22.2φ
Ⓙ	12.7φ × 25.4φ
Ⓚ	12.7φ × 28.6φ
Ⓛ	15.9φ × 28.6φ
Ⓜ	15.9φ × 31.8φ
Ⓝ	19.1φ × 31.8φ
Ⓞ	19.1φ × 38.1φ
Ⓟ	22.2φ × 38.1φ

特記事項

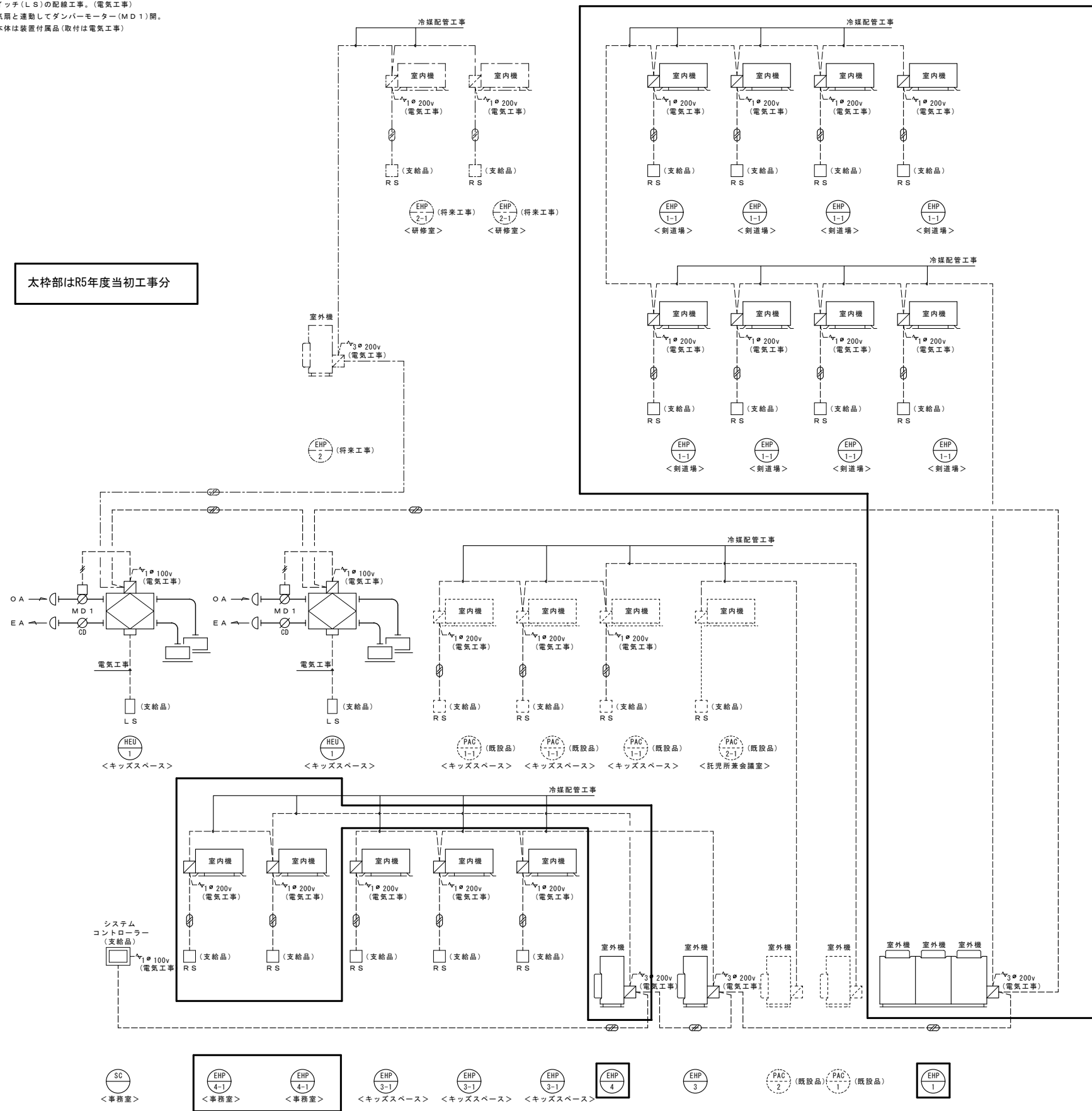
- ・室内機の設置位置、及びリモコンのグループ分け、取付位置は監督員と協議の上決定する。
- ・屋外露出配管部分はR Dカバー（高耐食製）を施す。
- 防火区画貫通部は、日本消防設備安全センター評定品
国土交通大臣認定工法による区画処理を行う。
- ・集中リモコンは、1階事務所設置とする。
- ・個別リモコンは、室内設置とする。
- ・天井点検口450口（建築工事）を示す
- ・区画処理材 国土交通大臣認定 PS060FL-9369（床）
- ・国土交通大臣認定 PS060WL-0534（壁） PS060WL-0467（壁・中空壁）
- 既存機器番号を示す
- 配管用コア穴明け部分については、非破壊検査を行い監督員の許可を得る事。

代表となる設計者：太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者：菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者：(株)創造設計舎 管理建築士：一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2023 . 3 .	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
		査 閲	校 正	担 当	図面名称	2階研修室詳細図 (将来工事)	図面番号

エアコン・空調換気扇廻り工事 1 set

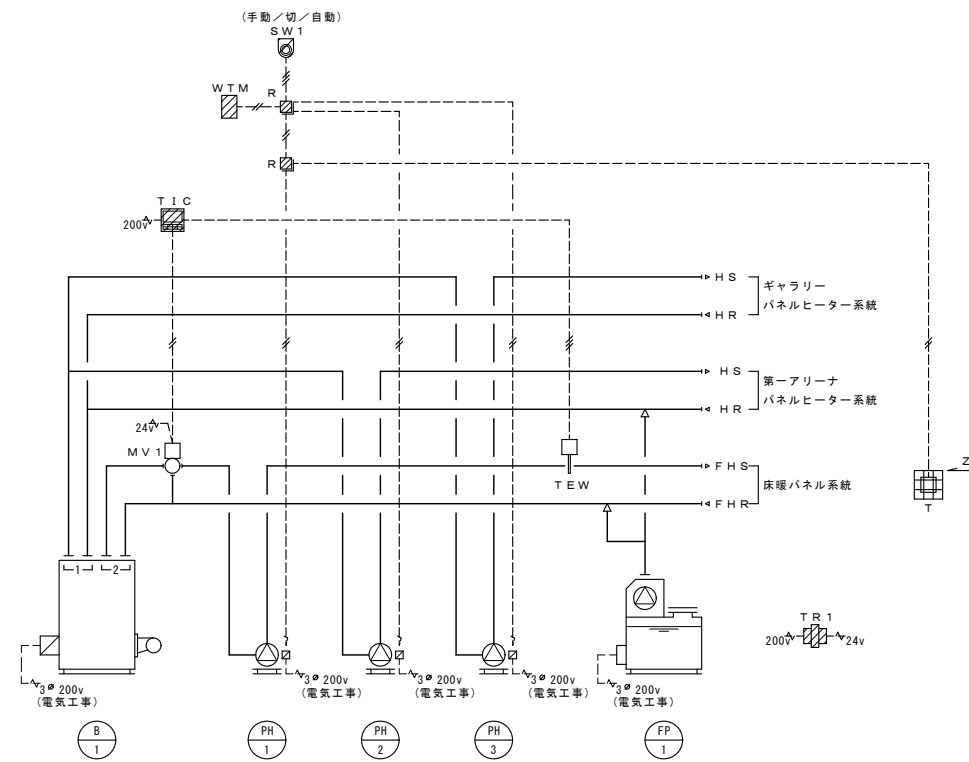
- <制御項目>
- ・システムコントローラー(S C)の配線工事。
- ・リモコンスイッチ(R S)の配線工事。
- ・室内機と室外機の渡り配線工事。(冷媒配管工事)
- ※ S C、R S 本体は装置付属品
- ・運転スイッチ(L S)の配線工事。(電気工事)
- ・空調換気扇と連動してダンパーモーター(M D 1)開。
- ※ L S 本体は装置付属品(取付は電気工事)

太枠部はR5年度当初工事分



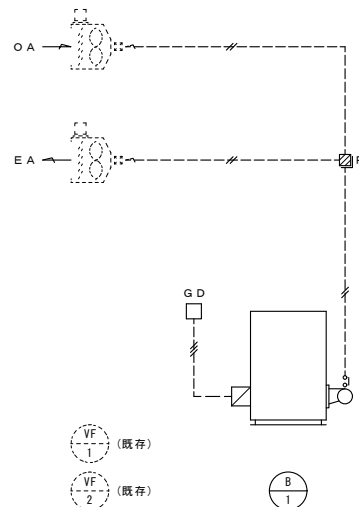
熱源制御 1 set

- <制御項目>
- ・週間タイマー(W T M)で温水ポンプ発停制御。(S W 1で手動操作可)
- ・室内温度(T)で床暖パネル系統ポンプのハイカット制御。
- ・送水温度(T E W)で三方弁(M V 1)比例制御。



設備機械室換気制御 1 set

- <制御項目>
- ・温水ボイラーのバーナー運転信号で、換気ファン運転による燃焼空気取り入れ制御。
- ・感震装置(G D)が地震感知時、温水ボイラー強制停止。



注記

- : 制御盤内機器を示す。
- : 電源供給を示す。
- : 既設部分を示す。
- - - : 将来工事を示す。

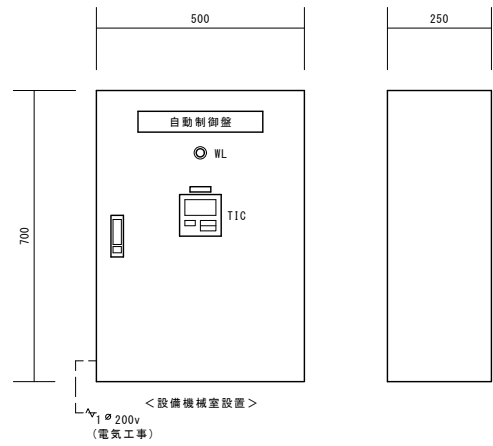
代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエンク 設計共同企業体	設計年月日	2023. 3.	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	NO SCALE
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊		2023. 3.		図面名称	
		査 閲	校 正	担 当			

自動制御機器表

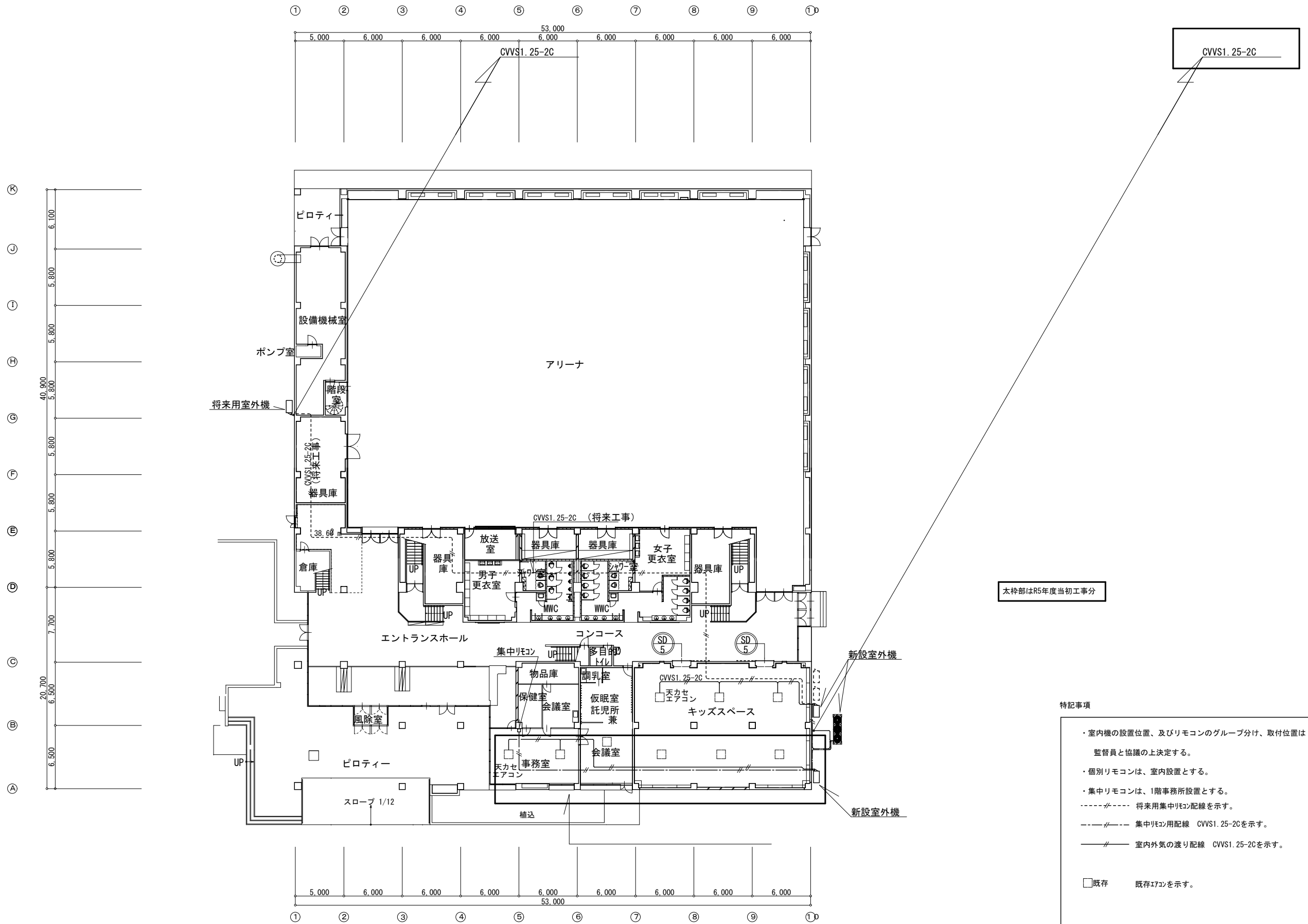
記号	名称	型番	備考
TIC	デジタル指示調節器	RPD500-1-6N	設定・指示共デジタル表示
TEW	送水温度検出器	QAE2111.015/ALT-SS150/GRA-1	
T	室内温度調節器	RAA21/ARG70	
Z	防球ガード		1個用
GD	感震装置		
MV1	電動三方弁	SKC62/VXF43...J	比例動作
MD1	ダンパーモーター	SFA	直結型 AC100v 2位置動作 スプリングリターン式
TR1	電源トランス		
WTM	通関タイマー		
SW1	切替スイッチ		手動/切/自動
R	補助リレー		

バルブ選定表

記号	系統名	型番	流体	流量	差圧	Kv	口径	備考
				l/min	kPa	m ³ /h		
MV1	熱源制御	SKC62/VXF43.80-100J	温水	400	30	43.9	80A	床暖パネル



代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエブク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日 2023. 3.			工事名称 芽室町総合体育館改修工事	縮尺 NO SCALE
		査 閲	校 正	担 当		



太枠部はR5年度当初工事分

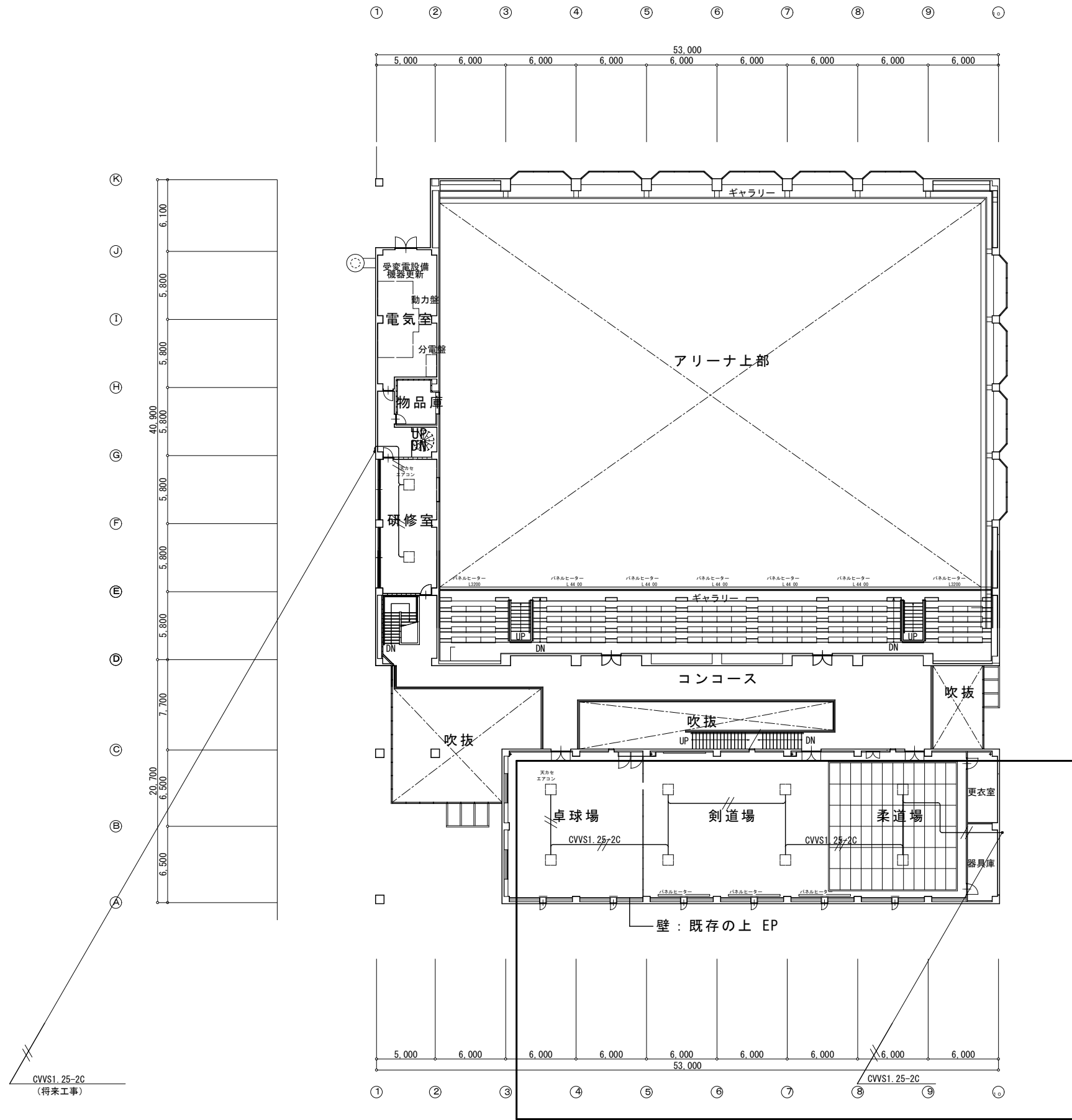
特記事項

- ・室内機の設置位置、及びリモコンのグループ分け、取付位置は監督員と協議の上決定する。
- ・個別リモコンは、室内設置とする。
- ・集中リモコンは、1階事務所設置とする。
- 将来用集中リモコン配線を示す。
- - - - 集中リモコン用配線 CVVS1.25-2Cを示す。
- 室内外気の渡り配線 CVVS1.25-2Cを示す。

□ 既存 既存リモコンを示す。

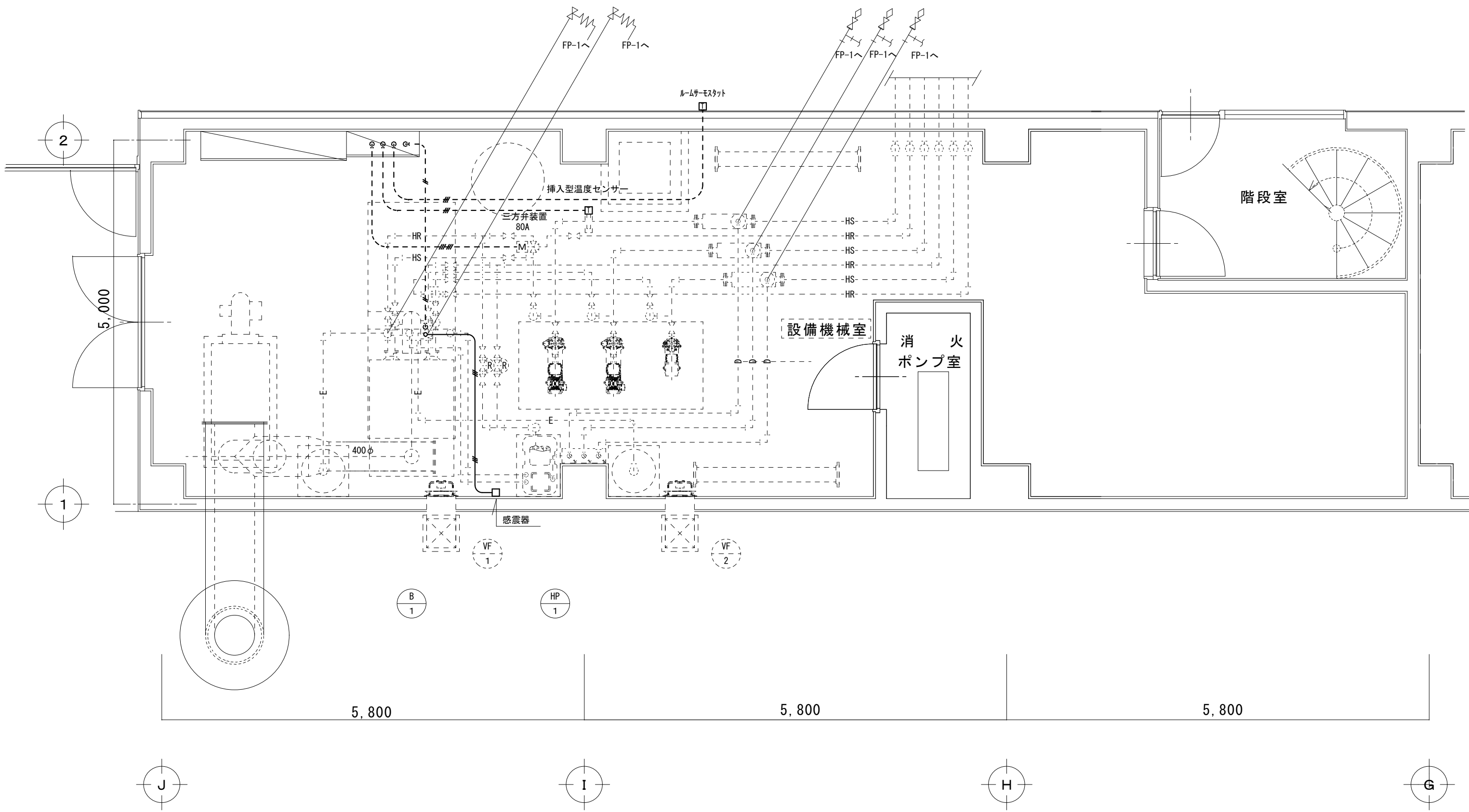
改修後平面図 1 : 400

代表となる設計者：太田 豊 一級建築士 その他の設計者：菅沼 秀樹 一級建築士	216909号 （意匠） 創造設計・アドリエブUNK 設計共同企業体 294080号 （意匠） 代表者：（株）創造設計舎 管理建築士：級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	芽室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		査 閲	校 正	担 当	図面名称	自動制御設備設備 1階平面図	図 面 番 号

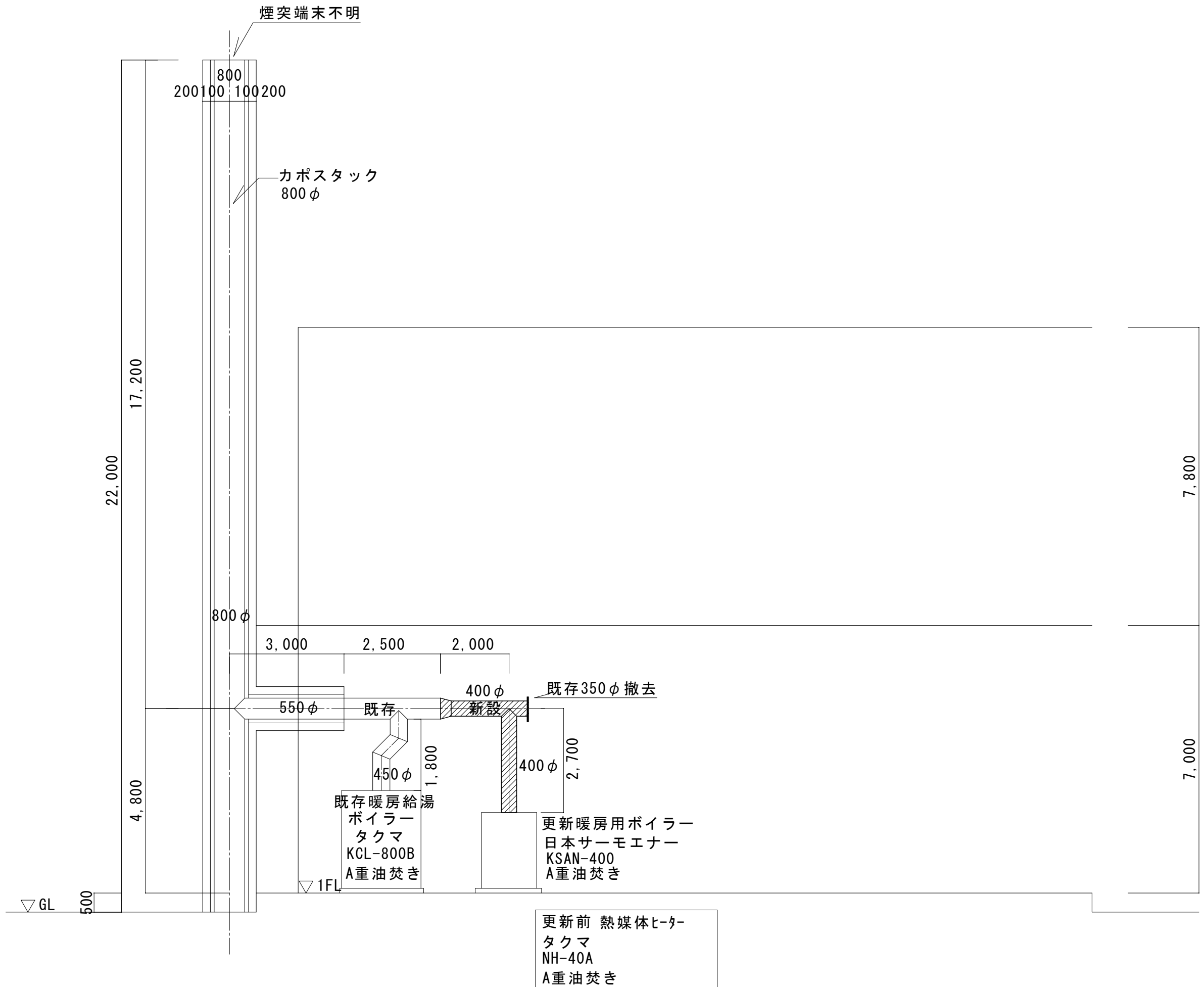


太枠部はR5年度当初工事分

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2023. 3.	工事名称	芽室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		査 閲 校 正 担 当		図面名称	自動制御設備 2階平面図	図面番号	M-123



代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体	設計年月日 2023. 3 .	工事名称 芽室町総合体育館改修工事	縮尺 A1:1/25 A3:1/50
	代表者: (株) 創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	査 閲 校 正 担 当	図面名称 自動制御機械室平面詳細図	図 番 M-124



代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエブク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2023. 3 .	工事名称	芽室町総合体育館改修工事	縮尺	NO SCALE
		査 閲 校 正 担 当		図面名称	煙道設備 (立面)	図 番 号	M-125